

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・東部グループ（指定管理者：アメニス東部地区グループ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
1	猿江恩賜公園	江東区住吉二丁目、毛利二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倒木事故が発生しており、目に見えにくい危険に対しても未然に対応する必要がある。安全管理には万全を期されたい。（事故発生後、樹木点検の強化により再発防止を図った。）</li> <li>・野球場グラウンド整備において、雨天でも定期的な整備と毎日点検を行うよう改善し、水たまりの解消、土入れなどにより早期の施設復旧を実施した。</li> <li>・都民協働事業においては、スクールパートナーである隣接小学校や周辺中学校との協働で行う自然体験や美化活動を地道に進めており、自然教育の普及と近隣施設との連携強化が図られている点で評価できる。</li> <li>・園内のオブジェクト「森の絵本」や「サルエモンを探せ！」などの愉快的な仕掛けにより、樹林地の新たな活用を図る試みは評価できる。</li> <li>・関係機関（区・消防・自治会）と共同で防災訓練を実施。幅広い層が参加できる多彩なプログラムを実施するといった、意欲的な取組が見られる。</li> <li>・新たな樹林地の活用として、夜間の利用促進等いくつかの試みにチャレンジしていることは評価できる。</li> <li>・樹木の管理については、樹齢が高くなると、全体を通じて樹木医の診断等さらに一歩踏み込んだ定期診断が必要な時期に来ているのではないかと。計画的な対応が望まれる。</li> <li>一方、昨年以来のアプリゲームによる来園者増への適切な対応は評価できる。</li> <li>・指定管理期間に最も効果的で当該公園を特徴づけられるものを見出せることを期待する。さらに、オリンピック・パラリンピックに向けた取組を期待する。</li> <li>・地域の方参加の花壇ボランティアを行っているのは好ましいが、ガーデニングのノウハウがアップするような内容であると、自立的なグループとして育つ可能性もあるし、見た目も魅力的になるのではないかと。</li> </ul>
2	亀戸中央公園	江東区亀戸八・九丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬のマナーアップキャラバンと早朝、夜間巡回により集団で複数の犬を放している事案の解消に至ったことは評価できる。</li> <li>・都民協働の取組として、地域住民等と意見交換を行うパークミーティングにより多目的広場を利用している野球団体代表と協議して、解消には至らないものの回数を減らす方向で調整を行うなど適正利用を促すよう取り組んでいる。</li> <li>・公園のシンボルツリーである山茶花を案内する「山茶花ガイドツアー」は公園独自の魅力を伝えるイベントとして評価できる。</li> <li>・自主事業の自然体験プログラムと季節のワークショップの実施回数を増やし、公園のテーマである「都会でみどりを学べる公園」環境学習プログラムを充実させ、自然や緑に触れる機会を提供している。</li> <li>・参加のプログラムが充実している。</li> <li>・自然体験プログラム等の参加者が大幅に増加している。さらに、広報活動等を通じて成果の継続を期待する。</li> </ul>
3	尾久の原公園	荒川区東尾久七丁目、町屋五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年振りのじゃぶじゃぶ池稼働について、ろ過装置が未改修であったため、水のろ過ができない状態であったが、設備担当が常駐して水の入替、塩素管理を頻繁に行うことで対応した。高く評価できるが、季節利用の施設の事前準備という点からは問題ととらえて欲しい。</li> <li>・都民協働の取組として、希少植物の保護、公園花壇づくり、樹林保護活動など多彩な活動を数多く実施し、成果を上げている。</li> <li>・地元社会教育団体と共催のイベント「動物愛護フェスティバル」では、荒川区教育委員会の後援のほか多くの組織の協力を得て、動物愛護講演、グッズ販売、ペットマナーやペットの防災を考えるワークショップなど、規模を拡大して実施した。</li> <li>・自主事業の昆虫観察会等は評価できる。当該公園の特徴の1つはトンボであることから、さらに昆虫を中心とした保護・生育とそのアピールに取り組んでいただきたい。</li> <li>・多様な参加の取組を行っている。</li> <li>・利用者満足度が大きく前年を下回っており、原因究明と対応を望みたい。</li> </ul>

4	東綾瀬公園	足立区東綾瀬一・二・三丁目、綾瀬三・五・六丁目、谷中一丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前ハト広場にある噴水の花壇化要望に対して、迅速に噴水の機能を維持した花壇の設計と花壇ボランティアの募集を行い、噴水の形状から船をイメージした花壇を設けるなどの対応を行ったことは高く評価できる。</li> <li>・野球場について、雨の際にはブルーシートでカバーをし、水抜き、土削り、転圧することで利用者の使用希望に沿うよう管理に取り組んでおり評価できる。</li> <li>・巡回スタッフ以外の視点で行う点検など巡回方式を工夫することにより多角からの視点による点検を実施し、危険箇所等の見落とし防止を図ったことは高い評価に値する。</li> <li>・スクールパートナー事業は、障がい者教育施設や学校の受け入れにより、障がいのある方に対するスタッフ自身のスキル向上につなげている点などが評価できる。</li> <li>・オフスクールパークは、東京学芸大学に加え、新たに帝京科学大学と連携し、公園をテーマ、題材にした多様なプログラムを提供しており、利用促進を図っている。公園側から大学にアプローチするなど、積極的な取組姿勢が見られる。</li> <li>・利用者満足度の各項目が高い評価を得ており、利用者の増加もあったことは高く評価できる。</li> </ul>
5	中川公園	足立区中川五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬のノーリードの苦情が多い公園であるが、初めての「犬のマナー教室」開催、「マナーアップキャラバン」回数増など犬のマナー啓蒙に寄与している。</li> <li>・5月に設置したバスケットゴールの早朝夜間の音の苦情対策として看板設置、散乱ゴミの回収、警察との連携と夜間の巡回を強化するなど適正利用が図られるよう取組を行った。</li> <li>・小学校から「公園の思い出」をテーマにした絵画を募集する「絵画コンクール」など、集客の努力を行っている。新たな集客コンテンツとして、ソフト面の努力を続けている点は評価する。</li> <li>・お勧めスポットとしてモミジの補植、品種名の整理、樹名板設置により「紅葉ゾーン」を設定してマップを作成し景観向上と新たな公園の見どころを創出したことは、工夫が見られ評価できる。</li> <li>・新たな集客に向けたいくつかの取組をスタートさせたので、今後の成果に期待したい。</li> <li>・他公園に比べるとまだ向上の余地があると思われるので、今後期待したい。</li> </ul>
6	大島小松川公園	江東区大島九丁目、江戸川区小松川一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・六価クロムの惨出が疑われる状況が確認された際には、直ちに清掃や補修等を行い都民に不安を与えぬよう対応したことは高く評価できる。</li> <li>・以前から活動している営利目的のサッカースクールやラグビースクールに対し、粘り強い指導により使用を止めさせ、公園利用指導を適切に行っている。</li> <li>・草刈り作業の仮囲いが不十分で来園者が作業エリアに入り転倒するという事故が発生している。些細な不注意が大きな事故につながることもあるので安全管理に万全を期されたい。（事故発生後、安全協議会にて事故原因の確認と再発防止策の検討、各公園に共有し、再発防止を図っている。）</li> <li>・公園で展開するスポーツプログラムとして「アウトドアフィットネス」を実施した。ノルディックウォーキング、ランニング、ストレッチといったプログラムを毎週2つを用意し、利用者へスポーツの機会の提供と機運の醸成に寄与した。スポーツによる健康づくりの今後の展開に期待したい。</li> <li>・都民協働の取組として、初めて公園からの提案により、江戸川区防災課、消防と共催の防災訓練を実施。地元住民が多数参加して、公園の防災施設を紹介し、発災時の役割を住民に周知した。</li> <li>・「季節のワークショップ」、森林インストラクターによる「自然体験プログラム」など公園として初めてのイベントの充実により、公園の魅力の創出と利用促進を図っている。</li> <li>・「キッチンカー」等の自主事業は当該公園の特性に適合している。テレビドラマでも使われ出していることから、今後の更なる広報活動に期待する。</li> </ul>
7	宇喜田公園	江戸川区北葛西三丁目、宇喜田町	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ワンちゃんマナーアップ教室」及び「ペットマナーアップキャラバン」は、昨年度より大幅に参加者が増えており、マナー啓蒙の向上が図られている。江戸川区保健所の狂犬病予防接種イベントと併用したことで、効率的なマナー啓蒙を行った。</li> <li>・初めて「季節のワークショップ」を開催（2回416人）し、公園の魅力向上と利用促進に努めた。</li> <li>・管理所が無い公園であるが、パークミーティングを実施し、ハーブボランティア団体を立ち上げたことは、参加のプログラムの努力が感じられ、評価できる。来年度以降の更なる景観美化の努力を期待したい。</li> </ul>

グループ全般	<ul style="list-style-type: none"><li>・各公園共通の取組として、犬のマナーアップキャンペーンなど適正利用の取組が図られている。</li><li>・個別の公園の魅力アップについての取組はそれぞれに成果を上げて、地域のコミュニティ醸成に寄与していることと理解するが、東京パークトリップが掲げる内外のお客様を対象とした空間づくりの公園像がまだ見えてこないように感じられる。大島小松川公園等公園の潜在力を生かせる部分が多く存在するため、今後様々な施策にチャレンジされたい。</li><li>・都民との協働、自主事業の実施に向けた意欲が感じられる。その他の項目も決して低い水準ではないが、バランスよく注力し、良好な管理状態を保っていただきたい。若い世代（特に地域のお母さんなど）のニーズに応えるような、マルシェ型のイベントや新しい創作プログラムを工夫・研究して広げられると良いと感じた。</li><li>・ダイオキシンや六価クロム等への対応、特に利用者への安全性の確保については十分な配慮がなされており、敬意を表す。</li><li>・利用者数も全体的に増加しており、満足度も高水準を維持していることは評価できる。</li></ul>
--------	---

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・南部グループ（指定管理者：東京南部パークスグループ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
8	日比谷公園	千代田区日比谷公園	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日アメニティ巡回を実施し、公園利用の適正化に努めた。都や警察と連携し特別清掃を徹底、粘り強い説得により長年滞留していた4名のホームレスが退去し、園内でテント生活者が見られなくなったことは高く評価できる。今後、新たなテント生活者が定着しないよう努められたい。</li> <li>・園内のすべてのケヤキ・クスに管理番号を付し、データベース化して点検、枯れ枝処理を行い、大木の落枝事故防止を図っている。</li> <li>・CSR企業と連携して実施したチューリップ花壇の植付体験では、新たにガーデナーを配属したことで花壇デザインが向上し、来園者の興味を引くスポットとなっており、新しい花の名所が生まれつつあることは評価できる。</li> <li>一方で、日比谷公園の立地を考慮するとまだ序の口と考えられる。2020年に向けて公園をエリアのセントラルパークとした広い連携を創れるチャンスと捉えたムーブメントを起こして欲しい。</li> <li>・サービスセンターに英語・中国語で対応できる職員を配置し、外国人観光客向けに英語・中国語により公園やイベントの情報発信を行うなど、公園の地理的・歴史的特性を踏まえた取組が行われている。</li> <li>・防災による隣組連携で、周辺官署の参加を得たことは評価できる。</li> <li>・新日本盆景協会との連携等「和」を意識した点は、外国人が多く訪れる環境で最適と言える。今後、当該方向性を拡大して、日本庭園とは異なる日本らしさの表現に注力していただきたい。</li> </ul>
9	芝公園	港区芝公園一・二・三・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港区等と連携し、長期にわたり滞留していたホームレスに対し職員が毎日声掛けを行い、ヒアリングを続けた結果、自立へ導くことができた。積年の課題であったホームレス対策を進めたのは、大きな成果である。</li> <li>・パークビューに選定されているもみじ谷について、紅葉シーズン前に樹木剪定を行い見通しよく明るい空間を創出するとともに、流れの清掃、流水設備の交換などの整備を行い、滝・流れの風景を持つもみじ谷の景観を大きく向上させた。</li> <li>・丸山古墳の古墳らしさが強調される景観の向上は評価できる。眺望の改善は細かい努力かもしれないが、なかなか評価点として明確にできない部分かもしれないが、大切な意識であり、評価したい。</li> <li>・都民協働の取組である「クリーン&amp;グリーン活動」の一環として、桜花期にマナーアップキャンペーンを実施し、お花見ルールのチラシを配布、昼夜2回の巡回を実施した。</li> <li>また、CSR企業と連携し桜花期にも園内清掃を実施した結果、ごみの持ち帰りが増え、園内のごみが減少するなど園内美化の推進につながった。活動が定着し、成果が上がっていることは評価できる。</li> <li>・企業参加の生物多様性の取組など、新しい参加の形を模索している。</li> <li>近隣の幼稚園・保育園などの体験の場としての公園づくり、コミュニティへの貢献も評価できる。</li> </ul>
10	青山公園	港区六本木七丁目、南青山一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内における喫煙マナー改善のため、ハイヤー・タクシー協会に働きかけたことや、広場の利用環境改善についての学生団体への積極的な姿勢は評価したい。</li> <li>・ホームレス対策をはじめ、快適な公園環境の維持に努めたことは、高く評価できる。</li> <li>・近隣の幼稚園・保育園と協働で「チルドレンガーデン」を3カ所制作し、見守り看板を設置した。職員が看板に毎日一言書き込むことで、花壇の手入れや巡回を行っていることを子どもや来園者にアピールし、公園の利用マナー向上を図った。</li> <li>また、近隣の学校、企業等と協働で花壇の整備や清掃活動を実施し、整備した花壇は特色ある「アート花壇」として公園のPRに役立てている。画期的な取組であり高く評価したい。</li> <li>・各企業がそれぞれガーデンデザインを工夫しての花壇づくりは、作る人も見る人も楽しめる企画である。指定管理者ならではのコーディネートとして評価できる。</li> <li>・近隣保育園、消防、町会と連携した「あおぞら防災訓練」等新たな試みは評価できる。</li> </ul>

11	林試の森公園	目黒区下目黒五丁目、品川区小山台二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内に名木等が多数存在していることから公園内のすべての樹木の基礎データを収集、マップ化、3D画像化を実施して基礎データを構築するなど、適正かつ効率的な管理に向けた努力が評価できる。</li> <li>・春秋2回開催の「林試の森フェスタ」を更に充実し、前年の2倍となる20店のマルシェ出店、東急電鉄の協力でエア遊具を導入するなど、秋のイベント参加者は過去最多の23,427人となった。イベントの活性化により、来園者が公園に関心をもつ機会を提供できている。</li> <li>・環境教育プログラム「林試の森公園で生き物さがし！」を開発し、自然観察会を実施したことは高く評価したい。樹木の多い公園特性を生かしたイベント等の展開が上手に行われている。</li> <li>・多様な主体をコーディネートしてのイベントや体験プログラム、生物多様性保全など、コーディネートのスキルの高さが評価できる。</li> <li>・公園の魅力向上の試みとして、イベントの活性化が進んでいる点は評価できる。今後は、外国人にももっと注目されるよう情報の発信を工夫されたい。</li> <li>・職員対応満足度がやや低い点が気にかかるため、改善を期待したい。</li> </ul>
12	蘆花恒春園	世田谷区粕谷一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園予定地の土壌汚染が判明した後、東京都の要請に協力し現場閉鎖の対応を速やかに実施したことに加え、現場閉鎖による砂ぼこりを未然に防ぐための時宜にかなった散水、近隣住民からの問い合わせ対応など、適切な対応を行ったことは評価できる。</li> <li>・継続的に行ってきた「花の丘フェスタ」は、花の丘地区の閉鎖後も都民協働の主要な取組として、途切れることなく実施。世田谷の地域性を生かしたNPO法人等との連携により、多様な魅力が生まれている。</li> <li>・季節ごとに幅広い年齢層が参加する様々なイベントを実施し、賑わいの創出と、来園者に公園の魅力を知ってもらう機会を提供できている。</li> </ul>
13	祖師谷公園	世田谷区上祖師谷三・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内のスケートボード利用者及び住民の代表者と安全対策のためのミーティングを実施し、安全柵の設置やスケートボード利用可能エリアを明示したことにより、公園の安全利用につながっている。</li> <li>・大手スポーツ用品メーカーとの共催により、「キッズアスレティクス」を初開催し、スポーツに触れる機会を提供したことなどにより利用者の増加を見たことは評価できる。</li> <li>・今年度初の試みとして「チルドレンガーデン」を設置し、近隣保育園に働きかけて園児による花苗の植付体験を2回実施した。地域の環境を考えると、ニーズに合致した適切な施策として評価できる。</li> <li>・華々しいイベント等は少ないが、地元住民との協働関係が築かれている様子が伺える。その関係性を活かし、より積極的な魅力向上・利用促進が行われることを期待したい。</li> </ul>
14	日比谷公園大音楽堂	千代田区日比谷公園一丁目五番	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者から要望のあったインターネットを利用したリアルタイム配信について、光回線を設置し催事等の中継配信を可能とするなど、利用者サービスを向上させた。利用者の要望に応える措置を取ったことは評価できる。</li> <li>・災害参集訓練に参加し、防災面で日比谷公園との連携を図った。また、MCA無線とIP無線を配備し防災無線訓練を週1回実施したことで、災害時の対応力が向上した。</li> <li>・来年度から実施予定の95周年イベント「日比谷音楽祭」など、今後の展開に期待したい。</li> <li>・日比谷公園との一体的な魅力づくり、話題づくりを期待したい。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念に掲げたレガシーパークの創造に向け着実な一歩を踏み出せているように感じた。的確な現状把握や基礎データの収集解析を基にした対応という業務の流れがしっかりと守られており、今後の事業展開に期待が持てる。</li> <li>・文化性、歴史性の高い公園のポテンシャルを生かしつつ、多様な都民活動を取り込んで新しい魅力づくりを進めている姿勢に期待できる。</li> <li>・グループ全体として、事故等もなく安定感のある管理ができていると感じる。</li> <li>・都心部の公園・施設と住宅街の公園が混在する中で、それぞれの状況を踏まえた管理が行われている。今後は、特に都心部の公園において、利用促進の取組を期待したい。ツイッターの活用など情報発信にも新しい展開が見える。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・北部グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
15	戸山公園	新宿区戸山二・三丁目、大久保三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者から要望のあったいきいき広場の整地等について、都と調整をとりながら利用団体間の合意形成を図り迅速、的確に対応した。</li> <li>・関係団体と連携した「特別巡回美化清掃」では毎月の巡回で滞留者への声掛けをするとともに、放置荷物や段ボール等を回収し、不適正利用の改善を図り園内の夜間平均滞留者数が減少した。</li> <li>・箱根山登頂証明書発行（4,699枚）や戸山荘の歴史に関する職員によるガイドや広報、案内看板の英文併記などにより、外国人を含む観光利用促進が図られた。</li> <li>・新宿区協働提案事業「しんじゅく防災フェスタ」の実行委員会の一員となり、新宿区や消防署、有志のボランティアと連携して新たに防災普及啓発イベントを実施した。</li> <li>多様な防災体験・各種セミナーや展示等が行われ、3,000人以上の来場者に公園の防災施設と避難場所を広く周知した。地域との連携により「しんじゅく防災フェスタ」を成功させたことは公園に期待される機能を果たす取組と高く評価できる。更なる充実を期待したい。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックを控え、ホームレス対応はより重視されると想定される。夜間の園内滞在者が見られなくなるよう、更なる努力を続けられたい。</li> <li>・観光のポテンシャルの高さを生かして、NPO法人や市民グループとの連携で、常設のお茶屋などの設置を進めてはどうだろうか。</li> </ul>
16	善福寺公園	杉並区善福寺二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察・消防と連携し、水難訓練を初めて実施した。サービスセンター職員とボート場スタッフが救助法の指導を受け、事故発生時の対応力が向上するとともに、緊急車両進入ルートの確認・問題点の発見につなげており、安全性を向上させている。</li> <li>・近隣学校の総合学習を誘致し、魅力的な公園づくりを指向した「子供たちと創る公園」の取組では新規5校が加わり、延べ2,377人が参加した。植生調査や維持作業、マナー啓発など多様な側面から学習の場を提供することで、公園への関心や愛着を醸成している。学校参加の生物多様性の取組は高く評価できる。</li> <li>・ボランティアと協力した野鳥のモニタリング結果の情報誌掲載や、新たに光学メーカーと連携した野鳥観察会と写真展を同時開催した。日本野鳥の会創設者に関する展示など、公園の特色である野鳥に関するイベントを民間企業との協業で実施し、課題の解決にまでつなげたことは、施設のマネジメントの観点から評価できる。井戸・園路等の着実な維持補修も行われている。</li> <li>・善福寺川の水害対策が進む中でも、水難訓練の実施は評価できる。今後は、善福寺川調整池の存在を前提としつつも考えられるリスクを明確化して、訓練が続けられることが望まれる。</li> </ul>
17	浮間公園	板橋区舟渡二丁目、北区浮間二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤・通学自転車駐輪について、注意看板の更新、植樹周辺の駐輪禁止措置や駅前駐輪場への誘導などの対策に取り組み、駐輪を減少させ、快適な公園環境の維持に努めたことは、高く評価できる。</li> <li>・園路の不具合などを利用者目線で発見し、対応をするなど安心・安全への配慮が行き届いている。</li> <li>・照明利用料徴収のミスと委託業者が剪定中に剪定枝を落とし通行中の人に当たる事故という、二つの不祥事が発生した点については、徹底した再発防止を求めべきである。（徴収ミスについては公園の全職員及び各責任者に対して徴収事務に関する研修を実施し、落枝事故については受託者への安全指導、教育を実施したほか、安全対策推進委員会で報告し周知を徹底することで、再発防止を図っている。）</li> <li>・志村消防署や地元企業と連携し、新たに「浮間公園防災フェスタ」を開催した。イベントを通して公園の防災施設の紹介や避難場所としての役割を近隣に周知し、避難・防災対応訓練を行うことで、地域の防災機能の強化を図ったことは高く評価できる。</li> <li>・野鳥観察スポットとしての更なる魅力発進に努め、新たなテーマでの「野鳥ガイドウォーク」や季節ごとの観察会などのイベントを開催するほか、小鳥の森のフェンスに設置した野鳥情報、野鳥写真、野鳥カレンダー等を「野鳥ギャラリー」としてリニューアルし、周辺の美化を行った。バードウォッチングのスポットとして成果を上げており、荒川の生態系保全の拠点としても機能している。</li> <li>・事務上及び作業上の管理ミスをなくし、公園の潜在的魅力に合致した評価を獲得できるよう努力されたい。</li> </ul>

18	赤塚公園	板橋区高島平三丁目、徳丸七・八丁目、四葉二丁目、大門、赤塚四・五・八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都内最大のニリンソウ自生地のモニタリングと管理を継続して行い、近隣高校等との協働の選択除草作業の実施、ボランティア参加によりクリーンアップなど実施した。</li> <li>・梅林の剪定と周辺株物の刈込みにより、ウメの骨格作りを行い、パークビューの創出を図った。</li> <li>・公園ボランティア団体と連携して「フィールドミュージアムガイド」第一弾「赤塚公園・崖線の植物」を制作し、イベントで無料配布するなど、保護活動を紹介して、赤塚公園の魅力である崖線の自然のPRを行っている。</li> <li>内容も充実しており評価できる。広く活用されることを望むとともに、第二弾に期待したい。</li> <li>・「ニリンソウ観察Day」を保護ボランティア団体や板橋区と連携して実施しており、ホームページ上の告知の他、板橋区立赤塚植物園と相互に関連イベントのPR、地域掲示板などへのポスター掲示を倍増(2,115箇所)、チラシを約5,000枚配布するなど事前周知を行った。自生地としての位置づけは定着しており、また、区立植物園との連携など、地域との協調が上手く行えている。</li> <li>・「東京緑地計画」が実現された公園のひとつとして、位置づけは定着している。崖線とは何かをさらに理解が進むようPRに務められたい。</li> </ul>
19	石神井公園	練馬区石神井台一・二丁目、石神井町五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性保全利用実施計画を策定し、これに基づき池内の植物の除去、希少植物の植栽を実施するなど生物多様性保全に積極的に取り組んでいる。丁寧な生態系調査をベースに、自然度の高い水辺としての保全と公園利用者への配慮をバランス良く進めている点が評価できる。</li> <li>・平成19年度から外来生物駆除とその普及啓発、在来魚の生息状況調査を継続して実施した結果、三宝寺池でカミツキガメの根絶、ミシシippアカミミガメの低密度化に成果を上げていることは評価できる。</li> <li>・落枝による第三者事故が発生しており、樹木の点検が不十分であった。目に見えにくい危険に対しても未然に対応する必要がある。樹木の多い公園であるだけに、落枝事故が発生したことは残念である。自然を生かしつつ、一層適正な管理に万全を期されたい。(事故発生後、周辺樹木の点検を実施し、枯枝等の支障枝処理を行い、安全を確認している。)</li> <li>・東京都文化財ウィークの石神井城址開放に合わせ、「豊島氏と太田道灌」をテーマに歴史ガイドを開催した。職員2名が講師となり城跡の案内と2題の講演を行うなど公園の魅力の発信に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・ボランティアと連携した自然観察会を13回実施した。前年度比15%増の374人の参加者があり、当公園の四季を通じた貴重な自然の魅力を発信する有意義なイベントとなっている。</li> <li>・園内の希少種の保全の取組、職員の豊富な知識に基づくガイドなどを実践している点で評価できる。事業効果の面で更なる目立った取組が望まれる。</li> </ul>
20	大泉中央公園	練馬区大泉学園町九丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の効率化を図るため側溝石蓋の簡易引揚機を考案したことは高く評価する。</li> <li>・園路際のサクラの倒木事故が発生し、根元部分に腐朽が確認された。積雪はごく少量で、腐朽は目視で確認できることから樹木点検が不十分であった。点検が行き届かなかった点は再発防止を求めたい。(事故発生後、樹木診断、周辺樹木の点検を行い、剪定等の処理を実施することで安全を確認している。)</li> <li>・プレーパークや隣接公園と連携し、子供向けの多様な参加型イベントを積極的に開催し、元気な子供を育む取組として公園の魅力向上につなげている。おおらかで豊かな自然を生かし、子供の体験フィールドとして多様なサービスを充実させている。</li> <li>・「ちょうの里」では新たに「さなぎのお宿」などさなぎの生育・観察スポットの整備、食草の移植など、蝶の舞う公園づくりに向けて計画的に整備を進めるとともに、イベントや自然観察会を実施し、「ちょうの里」の魅力の発信と周知に努めている。</li> <li>・公園の個性を演出する取組が行われている。利用者満足度など、利用者のニーズに留意しながら、より魅力を高める取組の継続が望まれる。</li> <li>・サクラの倒木事故は、樹木の老朽化とともに今後そのリスクは増大する。樹木医等を活用した体系的監視体制が望まれる時代になったのではないだろうか。今後、適切な対応が望まれる。</li> </ul>

グループ全般

- ・グループ内の管理運営方針の共有が浸透してきているように感じる。高い利用者満足度や利用者増加もその表れと評価する。
- ・積極的な広報活動やノベリティーの開発と並行して利用者目線の小規模改修や改良が行われるなどバランスのとれた管理運営が行われている。
- ・生態系の豊かさを生かし、都民参加の保全や活用のプログラムを充実させノウハウを積み上げている点が評価できる。
- ・利用者の総合満足度は高いが、特筆すべき取組に乏しく、一層の充実化に期待したい。
- ・北部公園スタンプラリーは、多くの公園を知ってもらうための良い取組と評価できる。他公園、他機関との連携など、更に魅力を高める工夫を進め、一層の充実を図ることが望まれる。



平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 武蔵野の公園グループ（指定管理者：西武・武蔵野パートナーズ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
21	武蔵野公園	小金井市前原町二丁目、中町一丁目、東町五丁目、府中市多磨町二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木診断の実施に伴い、公園の玄関口となる管理所、じゃぶじゃぶ池の周りの樹勢の衰えたサクラ再生プロジェクトを本格始動。未来の公園の魅力づくりのためには重要な仕事であり、それについての地道な取組は評価できる。プロジェクトの今後に期待する。</li> <li>・チェーンソーの誤操作により作業員が怪我を負う事故が発生した。作業員の事故は、あってはならないものであり、万全の再発防止措置を求めべきである。（事故発生後、現場状況を確認の上、事故再発防止協議会を開催、再発防止策として作業マニュアルの再確認や安全確認フローに基づいたチェックを実施している。）</li> <li>・スポーツ体験イベント「チャレンジキャラバン」や地域の方との実行委員会方式による「むさしのカレッジ」などの新規イベントの開催や、あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト「はけのおいしい朝市」における出店数の増加や多様なプログラムの提供など、継続イベントの内容拡充も行い、地域や公園の魅力を体験できるイベント展開は評価できる。</li> <li>・地域向けのインフォメーションやイベントが充実している。「あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」から生まれた朝市など、地元のニーズに応える企画は将来性を感じる。</li> </ul>
22	浅間山公園	府中市浅間町四丁目、若松町五丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倒木により府中市苗圃との境界フェンスを破損させる物損事故が発生した。安全管理の面で問題があったと言わざるを得ず、点検・剪定等の基本的な管理行為を一層徹底されたい。（事故発生後、周辺樹木の点検を行い、剪定等の処理を実施することで安全を確認している。）</li> <li>・生物多様性の面から、市民団体、学校、企業など地域ボランティアと一体となって管理作業、モニタリングを実践しており、絶滅危惧種を新たに確認（植物3種、鳥類2種）するなど、都民参加のプログラムを展開し、自然環境保全の取組で実績を上げている点が高く評価できる。</li> <li>・浅間山を考える会と共催で実施した第23回キスゲフェスティバルの参加者数が11,740人と過去最高となったことは高く評価できる。</li> <li>・浅間山を考える会を開催、年間を通して「浅間山公園園地保全工事」に関する手法検討や意見交換を実施。そこで策定した「浅間山公園保全管理ガイドライン」に基づいて整備工事が行われている。</li> <li>また、協働型保全モデルとして、市民団体、学校、企業、地域ボランティアと一体となった管理作業を実施しており、多様な主体と連携して雑木林保全作業、自然観察、除草・清掃、調査などに取り組んでいる点は評価できる。</li> <li>・事業の取組として都民協働、広報活動等成果をあげている。今後自主事業の面でも目立った施策がなされることを期待する。</li> <li>・協働型保全モデルによる管理など、ボランティア等との協働が高いレベルで実現している。共催によるイベントも充実している。</li> </ul>

23	野川公園	調布市野水一・二丁目、小金井市東町一丁目、三鷹市大沢二・三・六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に重大な徴収事務の誤りがあった。11月にも使用料と占用料を合算して払込む誤りが発生したため、責任者に厳重な指導を行った。徹底した再発防止措置が望まれる。(ミス発生後、再発防止対策会議にて情報の共有と原因の究明、再発防止への注意喚起を行った。研修を実施したほか、マニュアルを作成・運用し、内部監査により運用状況の確認を行い、再発防止を図っている。)</li> <li>・自然観察園のリニューアル等を実施して、園内の見どころマップや入口等の改修を行い、来園者にやさしい公園として改修したことは評価できる。</li> <li>・隣接のアメリカンスクールインジャパンの授業を2年連続で受入れ、武蔵野地域の自然、外来種の問題について、パークレンジャーより英語で解説を行った。新しい可能性を開くものとして評価できる。</li> <li>・マナーアップキャンペーンの特別企画として「ワンワンフェスタ」を初開催。盲導犬の普及啓発、愛犬とのゲーム大会、ペット雑貨店やカフェの出店などを行うほか、ケーブルテレビ、FMラジオの協力を得てマナーアップ向上のPRに効果を上げた。</li> <li>・また、日本大学准教授をアドバイザーとし、野川公園緑の愛護ボランティアの会と「バードサンクチュアリ懇談会」を定期開催。隣接するICU敷地内の湧水の確認、寒冷紗の試験的設置、野鳥の水浴び場としてのあか池の掘削など、バードサンクチュアリ再生に取り組んでいる。これらは意欲的な取組で高く評価できる。</li> <li>・武蔵野公園で実施している、地域市民からの企画提案による地元店舗等を取り込んだ事業展開を野川公園でもできるとよい。</li> </ul>
24	狭山・境緑道	小平市、東村山市、東大和市、西東京市	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長10.5kmの緑道で枝越境、草刈り等で近隣住民からの要望が多くある緑道であるが、日常管理のための巡回等を適正に実施して、公園管理に努めた。延長距離の長い緑道であり管理の負担は大きいと推察されるが、ガーデンパートナー制度、AI・GPSの活用によるポイ捨て対策の始動など、創意工夫への意欲が伺える。着実に成果が出ることを期待したい。</li> <li>・起点から終点まで10.5kmを一目で見ることができるパンフレットをリニューアル作成、英語表記もして大好評を得ている。利用者ニーズに応えるものであり、評価できる。</li> <li>・都民協働の取組として、住民参加型の緑道ガーデンパートナー制度を平成27年度に制定し、平成28年度は参加者と協定を締結してガーデンパートナー認定看板を設置し、緑道利用者に向けて活動をアピールしている。</li> <li>・住民参加型のガーデンパートナー制度の今後に期待したい。</li> </ul>
25	玉川上水緑道	福生市、昭島市、立川市、小平市、三鷹市、武蔵野市、杉並区	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定の名勝小金井(サクラ)を「緑地事務所」への協議もなく、樹木診断のみの判断で伐採を行う事案が発生。対象樹木への掲示も一切なされていなかった。管理対象施設の現状・価値を正しく把握していなかったことの証左であり、真摯な反省と再発防止措置の徹底を求めたい。(事故発生後、再発防止対策会議を開催し、他の指定管理グループの関係者による事故原因の究明を行った。また、マニュアルを再度確認し、都と協議の上、樹木伐採に関する協議書様式を作成・運用している。)</li> <li>・玉川上水の24kmにも及ぶ全長を一目で見ることができるパンフレットを作成した。玉川上水を散策する来園者の評判、広い(長い)緑道内でポイントをおさえた説明等は利用者ニーズに応えるものであり、見やすさ、判りやすさも好評である。</li> <li>・全長を一目で見ることができるパンフレットを作成したことにより玉川上水沿川の関心を寄せることが出来、今後の展開に期待が持てる。</li> <li>・国指定の名勝小金井(サクラ)の処置は大いに反省して欲しい。再発防止の対策は取られているが、原点に立ち返り日常管理に緊張感を持つことも必要である。</li> </ul>

26	武蔵国分寺公園	国分寺市泉町二丁目、西元町一丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「武蔵の池」再生プロジェクトPARTⅡでは、水質改善や生物多様性を向上させるため、同じ野川水系のあか池の底泥を設置、埋土種子の発芽、絶滅危惧種のカイツブリを初確認している。着実に成果を上げている。今後とも継続して努力されたい。</li> <li>・「あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」では、音楽イベント「ピクニックヘブン」、子育てイベント「日々ぷっぷ」のほか、新たに「みんなで公園ピクニック」を定期開催。</li> <li>実行委員会方式で、パンや野菜の販売カーや本の読み聞かせなどのワークショップを組み合わせ、計18回開催し、地域の交流イベントとして定着した。</li> <li>また、新規に「チャレンジキャラバン」などのスポーツ体験イベントも実施し、公園ライフの提案に取り組んでいる。</li> <li>継続実施の地元のカフェやマルシェが参加の「ぶんぶんウォーク」も過去最多の参加があるなど地域のイベントとして定着している。多様な自主事業はどれも好評を得ており高く評価できる。</li> <li>・参加型マルシェ的な企画は、今もっとも求められているものであると感じる。ヘルシーパークとしての取組も、たいへんニーズが高い。</li> <li>・新しい公園の可能性を広げている点が、高く評価できる。</li> <li>・野鳥の森のサンクチュアリをレンジャーによるガイドツアーなどに利用開放していることはサンクチュアリの価値を一部とはいえ利用者に認識してもらう意味で意義あることと高く評価する。</li> <li>・防災イベントにおいても、クイズラリーを取り入れるなど興味を持ってもらいやすい工夫が伺える。今後は、参加人数の一層の拡大を意識して欲しい。</li> </ul>
27	東伏見公園	西東京市東伏見一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に重大な徴収事務の誤りがあった。11月にも使用料と占用料を合算して払込む誤りが発生した。（ミス発生後、再発防止対策会議にて情報の共有と原因の究明、再発防止への注意喚起を行った。研修を実施したほか、マニュアルを作成・運用し、内部監査により運用状況の確認を行っている。）</li> <li>・占用料などの徴収事務も公園管理の重要業務であることを再確認して、厳正な対応を望む。</li> <li>・度重なる事務処理ミスに対して、適切な内部牽制制度の整備及び運用が望まれる。</li> <li>・防犯カメラの設置等で、公園施設へのいたずら等の抑止につなげるとともに安全性の向上に努めている。また、発生材をベンチ下に再利用し、ぬかるみを解消するなど安全な公園利用への取組も行っている。</li> <li>・子ども向けの「はらっぱスポーツ教室」を回数を増加して毎月開催しており、東伏見公園が新しいスポーツ活動拠点となるよう、利用者にスポーツの機会を提供した。公園が整備途中の段階にある中で、スポーツ拠点を目指し、積極的にイベントを実施している点は評価できる。</li> <li>・西東京市愛犬ボランティアとの連携でマナー向上のイベントを開催し、ゲームを織り交ぜるなど、参加しやすいよう工夫しながらマナー啓発に取り組んでいる。</li> </ul>
28	六仙公園	東久留米市中央町三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理所のない公園として初の防災イベント「防災キャラバンin六仙公園」を東久留米市や消防署、社会福祉協議会等の協力の下で実施し、550名の近隣住民に防災への備えや都立公園の防災対策（地域のコミュニティ、緊急避難場所の役目等）についてPRを行った。同様な条件の公園の参考になり、評価できる。</li> <li>・園内花壇を中心にボランティア活動参加のきっかけとなる「ちよいボラ」を実施。一年草1,100株、球根1,200球を植え付けている。多様な都民の、多様な関わり方を考えた参加型プログラムの工夫が評価できる。</li> </ul>

グループ全般

- ・緑に包まれた地域にあってより高い理解と要求を持つ公園利用者に対し、基礎調査に基づくプロとしての責任ある様々な企画、提案を行い、実行に移してこられたことに敬意を表するとともに、新たなチャレンジに期待したい。
- ・参加型の「あったらいいな」プロジェクト、参加型のマルシェの企画運営など、都の公園ではあまり行われてこなかった主体形成のノウハウが積み重なってきている点が期待できる。公園にかかわる主体をさらに育てて、コミュニティカフェの設置などに発展していくことを期待したい。
- ・むさしのパークライフマガジンの発行や、各種パンフレットの作成など、公園の魅力の情報発信にも、秀でたものがある。
- ・管理所のない公園緑地の管理運営は利用者や地域住民との接触が希薄になりやすい。緑道パンフレット、AI画像解析、防犯カメラ設置等の試みは興味あるアプローチである。今後に期待したい。
- ・徴収事務における事故の発生、国指定名勝の無断伐採など、注意不足による不祥事も発生している。優れたアイデアとプロジェクト遂行能力を持つだけに、事務処理や現場作業のミスは残念である。徴収を含む事務的報告や協議も重要な管理業務であることの徹底をお願いするとともにトータルな管理業務全体の適正な執行に努められたい。

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 多摩部の公園グループ（指定管理者：西武・多摩部の公園パートナーズ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
29	陵南公園	八王子市長房町、東浅川町	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に野球場使用料の指定金融機関への払込み遅延が発生し、都への報告の遅れも含め注意を受けたにもかかわらず、11月にも野球場使用料の払込みに際して納付書兼納入通知書の日付欄の誤記載が発生した。度重なる事務のミスに対して、適切な内部牽制制度の整備及び運用が望まれる。（事故発生後、本部による内部監査を実施するとともに、徴収業務に関する勉強会及び経理研修にてマニュアルを再確認することで職員の意識向上を図っている。）</li> <li>・市民参加型ガーデンづくりや多世代型ヘルシーパークの実現に向けて、講座や教室を開催した。10～11月に実施された「ウェルカムガーデン講座」では、花壇づくりの基礎知識の講習と実地の花壇の手入れ等の体験をセットにし、さらにグループワークを通じて参加者相互の交流を図るなど、参加者から高い評価を得た。講習と実地を組み合わせたユニークなものとなっており今後の発展が期待される。</li> <li>・公園の持つ可能性を引き出し、都民の参加型で、アイデアにあふれるソフトプログラムを展開している点が高く評価できる。</li> <li>・「親子スポーツ教室」（新規）では、スポーツコーディネーターの指導の下に、フラフープやパラバルーン等を使用して親子が一緒になって楽しみながら基礎運動能力を身に付けるメニューを提供し、参加者した親子連れから高い満足度を得た。</li> </ul>
30	小宮公園	八王子市大谷町、暁町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑木林管理に関する過去のデータを集め植生の変遷などの事実を把握するとともに、萌芽更新の全ブロックを徹底して現状植生調査するほか、センサーカメラなどを用いて生息する野生鳥獣調査を行い、調査データに基づいた維持管理計画の作成と作業を実施している。自然環境データの蓄積と管理計画、管理作業へのきめ細かな反映は評価できる。</li> <li>・季節イベントとして、前指定管理者が実施していた「四季の花まつり」を発展させ、「四季＊はなウィーク」として実施。ミニ図鑑付きマップ配布による「花めぐりワードラリー」など来園者が自ら園内の花を楽しむ手法を導入し、参加者の好評を得た。今後が期待される。</li> <li>・解散状態になったボランティア団体「どんぐり会」について、現指定管理者が事務局機能を担うことで活動を再開させた。特に同団体下の「野鳥」「野草」グループとは継続的に情報交換を密に行い、外来生物駆除や希少種保全等を協働で行う体制を構築した。</li> <li>・ボランティア団体の再結成による地域協力の基盤を確保したことは評価できる。パークレンジャーの活躍、ボランティアグループの再結成など、運営者の顔や思いの見える公園管理が効果を上げている。</li> <li>・公園開園30周年イベント「ありがとう＊ウィーク」として、ボランティアの協力を得て、講演会、講習会、公園の歴史を振り返る展示制作などを行った。</li> <li>・ボランティア団体の活動の復活、季節イベントのリニューアルは、指定管理者の交代による成果である。今後、一層の充実を期待したい。</li> </ul>
31	滝山公園	八王子市高月町、丹木町二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水域周辺の生物生育状況を重点的に調査し、南多摩絶滅危惧種Ⅱ類の「ヘラオモダカ」を初確認した他、哺乳類の生息を確認し、ミドリシジミの卵調査、埋土種子発芽プロジェクト等、生物多様性への配慮については、レンジャーを中心に滝山公園の特色を見出し、公園の魅力アップとして情報発信していることは評価でき、今後が期待が持てる。</li> <li>・台風9号来襲時、公園内より都道への土砂流出に伴い、道路管理者との調整に時間を要したことから対応の遅れが見られたことは、問題である。トータルな公園管理能力の向上に留意されたい。（事故発生後、緊急時の体制を再確認するとともに、必要な体制の整備と物資の確保を徹底した。）</li> <li>・公園開園30周年イベントとして、公園で活動する市民団体との共催により、レンジャーによるガイドウォークと歴史講演会を開催し、公園の自然と歴史を伝えた。</li> <li>・「滝山城跡群・自然と歴史を守る会」と「どんぐり会」のそれぞれと綿密に事前の情報交換を行うことで、両団体の総合調整に努め、遺構の維持管理作業と希少植物の保全を効果的に両立させることができた。公園管理の戦略を考える上で、山城の歴史や地域の方達の思い、生物調査など、まずは丁寧な調査を大事にしている点が評価できる。</li> <li>・水域周辺の調査を徹底し、絶滅危惧種を発見するなど、生物多様性保全には高い意欲が感じられる。また、NPO法人との関係構築も良好であることが伺える。</li> </ul>

32	大戸緑地	町田市相原町	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハス池全体を覆った環境省選定重点対策外来種のアマゾンチカガミを4度の作業で徹底駆除、ビオトープでは外来種ホソバヒメミソハギを除去し、里山生態系の保全に顕著な実績を上げたことは高く評価できる。また、貴重種の徹底調査を行い、タゴガエル、モリアオガエルなど高尾山系由来の両生類を確認、また、ルイヨウボタンなど東京では大戸緑地他一部にしか見られない希少植物も確認しており、生態系の保全に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・現指定管理者の初のイベントとして、専門講師を迎えた「野草観察会」が試行開催され、好評を得ており評価できる。自然教育にも積極的であるが、今後は特に植物に関心のない都民等にも訴求するイベント等を期待したい。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度からの新規指定管理者ということで、植物相調査や地域連携の構築などから手掛けているため新たに着手したイベントなどが多く、利用者の総合満足度は高いが評価を保留せざるを得ないものも多くある。今後、資源や地域人材を生かした、その公園ならではのプログラムを生み出して、次年度には成果の一端の報告があることを期待する。</li> <li>・地域との連携や生態系の保全への志向が強いと感じられることはプラスに評価すべきことであるが、使用料の管理や官公署との連絡等の事務管理にも注力されたい。事務処理のミスについては、内部監査も含めた内部牽制制度の適切な運用に期待したい。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 狭山丘陵グループ（指定管理者：西武・狭山丘陵パートナーズ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
33	狭山公園	東村山市多摩湖町二・三丁目、東大和市多摩湖四丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年に宅部池で行ったかいぼりの動植物モニタリングを実施し、オオクチバスとコイの根絶とかいぼり時に一時捕獲後に放流した在来種の定着を確認。ヨシノボリやテナガエビは個体数が大きく増加。また、東京都で初記録のミズフラスコモの生育が確認されるなど、大きな成果が生じたことを確認できた。動植物、植生の専門性を生かした取り組みが充実している。</li> <li>サクラ復活プロジェクトなど地道な取組も行われている。</li> <li>環境DNAの研究の場として最適である。当該施策の実施を検討されたい。</li> <li>「狭山丘陵フェア～SAYAMA HILLS DAY～」等の大型イベントを開催し、事前の精力的な広報活動の結果、イベント参加者が過去最大になるなど、毎年恒例イベントの定着化は高く評価できる。</li> <li>「狭山kids day」や狭山、東大和、八国山緑地をめぐる「春のうららかウォーキング」など狭山丘陵の自然に親しみながら保全の取組を紹介している。また、親子で自然と親しむプログラムを通して、家族での公園利用の促進を図っている。</li> <li>草の刈り残しを「バッタランド」にすることでバッタの生育場所と子供たちが生きものに触れ合える環境を確保するなど、公園の魅力向上に取り組んでいる。</li> <li>狭山公園の開園80周年を祝うイベントの企画を来園者とともに考える「わいわいミーティング」を実施し、自然保護団体、公園利用者等の意見を積極的に取り入れ、企画に反映している。</li> </ul>
34	八国山緑地	東村山市諏訪町二・三丁目、多摩湖町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣介護施設からの要望を受け、安全安心に車いすや移動式ベッドでアクセスできるような園路整備を実施した。これにより近隣の避難場所としての活用も期待できる。</li> <li>犬のマナーアップキャンペーンや特別制札板の設置を行い、通常業務外も含めたマナーアップの啓発を図った。</li> <li>「多様な生物が生息する都立公園づくり事業」による送電線下皆伐箇所草刈りにより、萌芽更新を促進。伐採木を用いて動植物調査を実施。イベント参加者と作業することで生物多様性の関わりについて伝えることができた。</li> <li>狭山3公園管理運営協議会を開催し、「多様な生物が生息する都立公園づくり事業」の整備工事に関して意見交換を行い、ふたつ池に泥が堆積して水が溜まらなくなり、生物の生息環境が悪化しているといった意見を受け整備工事で浚渫を実施、また、皆伐、択伐に反映させるなど、市民団体の提案を計画に反映させた整備につなげることができている。</li> </ul>
35	東大和公園	東大和市湖畔三丁目、高木一丁目、狭山三丁目、奈良橋二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>松枯れ防止の薬剤注入により、保全対象であるアカマツの枯死を未然に防いだ。アカマツの周囲を伐開したことにより、日照環境が改善され、絶滅が危惧されているハルゼミの保全に寄与した。自然保護団体との協働でオオムラサキの越冬幼虫調査を実施し、35個体の生息状況を確認した。</li> <li>「東大和公園育むエリア北側道路沿いについての説明会」を開催し、地域住民と丁寧に協議を重ね、管理方針について丁寧に意見を積み上げ、信頼と合意を得ていることは評価できる。雑木林の保全という公園のテーマを地域住民と共有するための丁寧な説明会などは、大切な取組である。</li> <li>狭山3公園管理運営協議会を開催し、「多様な生物が生息する都立公園づくり事業」の整備工事に関して意見交換を行い、公園東側のハルゼミロからヤマザクラロ周辺の大規模に皆伐の際に意見を反映させるなど、市民団体の提案を計画に反映させた整備につなげることができている。</li> </ul>
36	野山北・六道山公園	武蔵村山市本町三・五・六丁目、三ツ木、岸、瑞穂町石畑、殿ヶ谷、高根	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月に上陸した台風9号による甚大な被害が発生したが、パートナーズ本部の災害対策と現地対策本部を設置し、緊急時対応にあたった。</li> <li>土砂崩れに対しては瑞穂町および東京都と協議しながら緊急対応及び復旧作業に迅速に対応した。素早い応急対策の実施や、被害後の二次災害対策を実施して、利用者及び、近隣住民の安全に力を注いだことは高く評価できる。</li> <li>水田耕作用水確保及び生物多様性の向上を目的として、岸田んぼに新たなため池を創出した。台風9号による土砂流入で産卵水域が消失したものの、掘削によって合計44ヶ所の水域を確保した結果、西武・狭山丘陵パートナーズの指定管理開始以来、トウキョウサンショウウオの成体を確認することができた。希少種の保全に尽力したことは、高く評価できる。</li> <li>「里山春祭り」、「里山秋祭り」、「収穫祭」、「じっくり田んぼコース」、「里山キッズレンジャー」を実施、里山の魅力や田んぼ体験を通じて自然環境保全について学ぶ機会を提供している。</li> <li>「里山秋祭り」では里山民家15周年を記念して、公園ボランティアの企画参加により、村山紬の試着、地域ブランドの飲食店舗の出店、田んぼでのMusic Live、母屋ミニガイドなど、新たな内容も加えた秋祭りを開催。また、公園ボランティアによる記念誌作成も行われた。</li> <li>都民参加による、古民家を中心とした里山の保全活動が大変充実している。地域活性化につながる観光的な施設としても期待できる。</li> </ul>

37	中藤公園	武蔵村山市中央 四・五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水準どおりの日常管理は出来ており、今後、魅力向上に向けた取組を期待したい。今後の管理を見ていきたい。</li> <li>・平成28年度に開園した新しい公園で、ホームページに中藤公園のページを新規作成、狭山丘陵を連続させる位置にある中藤公園について周知PRを開始した。</li> <li>また、レンジャーによる自然体験プログラム「ガイドウォーク」を開始して、自然の魅力発信に取り組んでいる。開園間もない公園であるが、PRへの努力が見られる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「狭山丘陵フェア～SAYAMA HILLS DAY～」の大型イベントを開催し、「シアタートーク」「フォトスポット」などの取組を各公園で実施。参加者が過去最大になるなど、より質の高いプログラムを提供している。</li> <li>・季節のお知らせやイベント情報を「きてみてニュース」として発信しており（各号8,000部を発刊）、指定管理者の取組を紹介するなど、広報・PRに取り組んでいる。</li> <li>・外来生物であるキタリスの根絶のために関係団体と狭山丘陵広域連絡会で情報収集及び情報提供に努め、推定40匹ほど存在するといわれている個体数のうち33個体の捕獲に寄与している。</li> <li>・野鳥観察マナーアップキャンペーンでは、パンフレットやバッジの作成配布や関係団体との協力の結果マナー違反の発見件数が減少した。</li> <li>・基本理念に掲げたサステイナブルチャレンジで謳う「SATOYAMAを世界へ発信」「レガシーとして次世代へ継承」の実現を心から期待する。</li> <li>・狭山3公園は利用者数が増加しており、情報発信や多様なイベントや体験プログラムの開催などにより、認知度が高まっている。</li> <li>・里山の保全について、たいへん高い専門性や参加プログラムのノウハウを積み上げてきていることが実感出来る。</li> <li>・著しく素晴らしい管理運営をしている公園もあるが、一方で特筆する点のない公園もある。グループ内でのレベル差は大きいと感じる。</li> <li>・グループによる管理の対象となる公園が連担している強みを活かし、さやまKIDS DAYなどの大型イベントを実施している。これらのイベントにはリピーターも多く、上手に公園資源を活かしている。</li> </ul>



平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 多摩丘陵グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
38	長沼公園	八王子市長沼町、下柚木	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野草保全管理の工夫により、同じ場所で季節に応じたカタクリとキバナアキギリの二毛作的保全を実現したことは評価できる。</li> <li>・職員とボランティアが協働し、過誤による伐採を防ぐため、園内のヤマユリにマーキングを行い、選択的草刈りを実施することにより、ヤマユリの咲く園路にした。</li> <li>・「秋の長沼・平山城址公園を歩こう」は、前指定管理期間からの継続事業ではあるが、今年度は新たに地元山岳会「八王子山の会」の協力を得て山岳上級指導員からの指導を行うなど、里山ハイキングの内容の充実に取り組んだ。ハイキングというキーワードで、複雑な地形の公園を生かす方法を工夫している。</li> <li>・現地管理所がない状況の中、巡回途中でのガイドや護岸崩落危険箇所の発見など、巡回管理が適正に行われ成果も上げている。</li> <li>・野草の保全管理等地味な業務であるが、適切に継続していただきたい。</li> <li>・地域参加のしかけを考えて、魅力的なソフトやPRを広げていかれると良い。</li> <li>・近時、戦車トンネルの存在の有無が話題となっているが、過去の公園の歴史も広報活動に含めていただきたい。</li> </ul>
39	平山城址公園	八王子市堀之内	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物多様性センター及びボランティアと協働して植物調査を実施し、325種を確認した。専門性の高い植物フロラ調査を完成させるなどの成果が上がっており、今後の保全活動に活用できる取組となっている。</li> <li>・「秋の長沼・平山城址公園を歩こう」は、前指定管理期間からの継続事業ではあるが、今年度は新たに地元山岳会「八王子山の会」の協力を得て山岳上級指導員からの指導を行うなど、里山ハイキングの内容の充実に取り組んだ。</li> <li>・丘陵地レンジャーや丘陵地ボランティアによる「その場でガイド」に加え、毎日の巡回職員の解説スキルを高め、ガイドを行うことにより、管理所のない公園における利用者とのコミュニケーションの強化を図っている。</li> <li>・環境保全にかかわるボランティアや山岳会などだけでなく、地域の若い世代の参加協力を引き出す工夫をして、楽しさのある公園にしていけるとよい。</li> <li>・何か城址公園らしい特徴がほしい。各地の城址を活かした試みを研究して参考にしてもらいたい。</li> </ul>
40	小山田緑地	町田市下小山田町、上小山田町	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理所職員が庁有車を運転中に後輪の脱輪を外そうと前進した際に、東京電力の電柱に衝突する事故を発生させた。再発防止を求めたい。（事故発生後、事故の経緯を検証、原因を究明した。車両運転時の注意事項について再確認・情報共有することで、再発防止の徹底を図っている。）</li> <li>・丘陵地レンジャーが中心となりNPO法人と協働してフロラ（植物相）調査を実施し、582種の植物を同定、記録し、クロヤツシロラン、ミゾハコベ、ヒメシオン等数種類の絶滅危惧種を確認できた。</li> <li>調査結果を基に、希少植物分付図を作成し、保全対策に活用した。</li> <li>実際に東京都による皆伐エリアの草刈り工事の際に知見を生かし、里山構成種の実生木の刈残しを提案。現地モニタリングと残すべき実生木のマーキングを行い、選択的草刈りを可能にした。これにより、新たな里山林の創出が期待できる。</li> <li>・里山景観のひとつである「田んぼ」を維持し、次世代の子どもたちに里山保全活動を保全するための「田んぼづくり」を田んぼ友の会、農業指導員、地元の子どもと保護者の方々と協働で実施した。</li> <li>5月の田植えから11月の収穫祭まで延べ1,300人に里山保全活動の伝承を行った。今年度新たな取組として、職員が里山文化について解説を行い、米作り体験だけでなく里山保全の意義を多世代にわたって学んでもらえ、評価したい。</li> <li>・ラジオ体操や創作体験等のソフトプログラムが、少し時代遅れなイメージの内容とを感じる。若い世代の市民グループなどに企画づくりにも参加してもらい、さらに魅力的な公園活用、公園PRが行われることを期待したい。</li> <li>・里山らしさの起点として、何らかの田舎の建築物がほしいところである。都民協働は順調に継続されていることは、新規のものではないが評価したい。</li> </ul>

41	小山内裏公園	町田市小山ヶ丘二・四丁目、八王子市南大沢四・五丁目、鏈水二丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希少種保護育成のためのモニタリング調査結果を活用し、キヨスミヒメワラビ、メヤブソテツ他3種の絶滅危惧種を確認し、その保全に成功している。調査結果に基づくモニタリングカルテを元に「希少種分布図」を作成し、さらに保護すべき優先度の高い種を選別して「希少植物草刈時期等一覧表」を作成し、年間を通した維持管理方針を策定した。今後、サンクチュアリの活用を検討するにあたって重要な資料となる、希少種分布図等の自然環境データが蓄積され、管理にも適切に反映されている。</li> <li>・「どんぐりコンサート」「公園育児サロン」など、拠点施設をうまく活用したプログラム、年間イベント、四季の自然体験などが充実している。</li> <li>・「チャレンジ防災」を地元自治体をはじめ地域団体等と幅広く連携して、会場を尾根緑道まで拡大し、クイズラリーの新規実施、ハイパーレスキューや自衛隊車両の招致など、内容の充実に取り組んだ結果、平成27年度を大きく上回る参加者を集め、地域住民等に対する防災意識の普及啓発に効果を上げたことは高く評価できる。</li> <li>・利用者満足度がいずれの項目も高く、高水準であった昨年よりも上回っている。総合満足度も5.0と非常に高く、公園管理全般において高い水準で行われている事が利用者の声として表れていると言える。</li> <li>・敷地の大半を占めるサンクチュアリーエリアの学習を目的とした公開の方法について是非検討して欲しい。</li> <li>・江戸時代は蛸を人工的に増加し、広く販売していたと聞く。過去の事例を参考に蛸の増加にさらに尽力していただきたい。</li> </ul>
42	桜ヶ丘公園	多摩市連光寺三・五丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丘陵地レンジャーと丘陵地ボランティアが協働で園内の植物調査を実施し、植物相の基礎情報としてデータの蓄積に努め、830種の植物を確認。植物調査に基づき「希少植物保全作業エリアマップ」を作成し、マーキング、下草刈り、間伐、外来種駆除などの保全活動を計画的に実施した。希少種の保全に尽力したことは高く評価できる。</li> <li>・3公園共同作業により古竹の伐採と林床整理を行い、密度目標どおりの美しい竹林を整備した。この取組は日本公園緑地協会主催の「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会等でも発表され、高い技術水準と意欲を示すものと評価できる。</li> <li>・多摩市教育委員会と連携した地域密着型の旧多摩聖蹟記念館でのコンサートは、和琴2面、ピアノ・ハーモニカによる混成合唱、音楽大の金管五重奏、地元シンガーソングライターのミニライブ等を展開。地元自治体と協力して創り上げる新しい里山ムーブメントを創出した。事前広報の充実、花見時期の参加促進を工夫をするなどにより、前年度の2倍を超える675人の参加者を集めた。</li> <li>・自主事業が公園の特性にマッチしており評価できる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・山の緑と街の緑をつなぐ緑としての位置づけと役割を理解した上での個々の公園における事業は成果を上げてきている。基本理念「心のふるさとづくり」の推進に期待したい。</li> <li>・公園利用者も大幅に増加し、満足度も高位を維持している。すべての公園で、適切な窓口対応ができていていると感じる。</li> <li>・植物分布を調査・記録し、実際の管理行為に生かすなど、ボランティアとの協働が高いレベルで行われている。委員会でも意見が出たように、サンクチュアリ（自然保護区）について、単に閉鎖するだけでなく、海外での事例等を参考に、一定の開放への方策を検討されたい。</li> <li>・地形の豊かな公園の魅力づくりを進めている点は評価できるが、全体としてソフトプログラムやPRの方法をもう少し魅力的なものにできるとよいと感じる。若い世代の参加のしくみを考え、主体的に若い世代が活躍できるような協働事業を起こしていくことを期待したい。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 大神山公園 （指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
43	大神山公園	小笠原村父島	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオハマオモトの草勢回復は、その特性を理解し効果的な独自手法を採用したもので、創意工夫に満ちた、優れた取組であった。</li> <li>・外来種駆除で薬剤を塗布する際の工夫として液体湿布剤容器を活用し、安全かつ効率的な作業を可能とした。作業時間も従来の7割程度に短縮し、駆除の範囲をさらに拡大して行えるようになった。</li> <li>・塩害による落葉が頻発するという特徴があるが、職員の創意工夫により落葉の飛散を防止するネットを設置するなど、清掃において努力が見られた。</li> <li>・利用者の自然保護意識が高く、また離島という公園管理の困難度がある中で、期待通りの管理運営が出来ている。</li> <li>・竹芝客船ターミナルでパンフレットの配布を行うとともに、海運会社に働きかけを行い、広報ツールとして制作した映像コンテンツをおがさわら丸船内で上映するなど、乗船客への公園のPRの機会を拡大した。</li> </ul> <p>この取組は一定の成果を上げ、来園者増につながったと評価する。公園のさらなる魅力アップについてビジターセンターとの連携イベント、地元団体との協働等を視野に入れ積極的な施策立案に向けての努力を望む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の小学4年生の総合学習として、固有種ヒメツバキの植栽指導、固有種植栽の重要性の解説等を実施し、小笠原の自然保全活動への理解に貢献した。地元だけではなく小笠原を訪れる人や外部の人へも波及していくことが望まれる。</li> <li>・公園内の細かいデザインを地域的な魅力を感じさせるものとし、小笠原らしいテーマパークとしての魅力を充実されるとよい。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 青山葬儀所（指定管理者：日比谷花壇グループ 指定期間：平成28年4月～平成33年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
44	青山葬儀所	港区南青山二丁目三十三番二十号	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モスキートマグネットの設置や、色や照度を調整したLED照明の設置など、利用者の視点に立った細かな維持補修も行っている。</li> <li>・納入金については、計画値の118%を達成した。</li> <li>・利用者が葬儀所を使う際に参考となるよう、青山葬儀所を知ってもらう取組、実例に則した情報発信などを行っており、利用につながっている。</li> <li>・朝日新聞の取材に対し、葬儀所を効果的に周知する機会と捉え、積極的に対応・協力した。葬儀の様々な仕事という形式で、青山葬儀所の記事が1カ月間、毎週掲載された。</li> <li>・少人数葬儀のための部屋の間仕切り、目隠し用の遮光カーテン・パーテーションの設置、副導師用椅子の設置、貸金庫設置など、利用者の要望に適切に対応した。また、年2回職員による遺族室宿泊体験を実施し、バスタオル、飲料水を常備するなど利用者の目線に立った改善を行っている。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 防災公園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月） （※葛西臨海公園のみ平成28年4月～平成30年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
45	東白鬚公園	墨田区堤通二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営利目的でサッカー学校を行っている団体に注意指導を行い、園内利用の適正化を図っている。</li> <li>・平成28年度から防災公園グループに編入され、各種防災設備の稼働訓練や公園ボランティアや地域住民と連携した夜間防災訓練を開始するなど、防災公園としての管理を順調に開始している。</li> <li>・汐入公園と連携して開催した「防災まつり」では、公園間のスタンプラリーや子供向けプログラムの「防災クロスロード迷路」、近隣防災施設の見学ツアー、東京水辺ラインの水上バスによる防災船輸送訓練、かまどベンチを使用した備蓄食料の試食など、参加型の多彩な防災体験プログラムを企画・実施している。隅田川を挟んだ地域防災エリアを包括した重要な地域での開催であり、地元自治会と汐入公園で防災活動を行っている自治会との相互交流、訓練の企画・実施は都民の防災意識向上に大きく寄与するものとして高く評価できる。</li> <li>・地域的に考えると、近隣の大規模団地等との連携による避難対応（特に夜間のもの）を重視し、防災対策を継続されたい。</li> <li>・有事の際を想定した、防災の取組は重要であり、それについては充実していると評価できる。</li> </ul> <p>ただ、都立公園はその広さからも地域にとっては重要な緑地であるので、公園としての魅力づくりや利活用に関わる取組についても、報告がいただけるとよい。</p>
46	木場公園	江東区木場四・五丁目・平野四丁目・三好四丁目・東陽六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は近年に無いほどイベントによる公園地利用や公園内に一部影響するような公共の近接施工工事が多数行われていたが、それに伴う公園内の利用調整や安全対策、巡回確認等を適切に行い問題の無いよう管理運営を行った。</li> <li>・区の総合防災訓練への参加、学校、町会、企業などへの防災施設の解説や稼働訓練、火起こし体験イベント、ペットの防災セミナーなど、地域連携により防災意識の向上を図っている。</li> </ul> <p>中でも自主事業「わんぱく防災フェスタ」は、関係機関の協力を得、親子で楽しめるプログラムを用意、昨年度比37%増の2,200人の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ペット防災学習セミナー」も、見過ごされがちであるが避難時に問題になる可能性のある事柄について学ぶ催しで、良い着眼点に立ったものと評価できる。</li> <li>・都市緑化植物園を中心に、植物をより身近に感じてもらう植物観察ツアーを実施した。ガイドブックによる園内の植物解説に今後咲いてくる植物の情報やクイズ形式を入れるなど再来園してもらえようように工夫している。</li> <li>・帰化植物園やハーブエリアなど園内の見どころを解説し、また新規に詳細などめぐりマップを作成し、普段気付かない深い見所をPRしている。楽しめるツールを使って興味を膨らます工夫をするなどの取組は評価できる。</li> <li>・いろいろな取組をされているようなので、防災の観点だけでなく、公園の魅力づくりや利活用プログラムなどについても、独自の施策や成果があればご報告がいただけるとよいと思う。</li> </ul>
47	砧公園	世田谷区砧公園、大蔵一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェンスを3.6m破損する枝折れ事故及びサクラの倒木が発生しており、安全管理意識や日常点検が不十分であった。（事故発生後、周辺樹木の点検を実施し、枯枝除去や剪定を行うことで再発防止を図った。）</li> <li>・ファミリーパーク内の犬の連れ込み等の不適正利用に対し、園内巡回を強化する等の対策を行うとともに、飼い主のマナーアップのための犬のしつけ方教室を開催する等、間接的なアプローチによる問題解決に向けた取組も行っている。</li> <li>・平成28年度から防災公園グループに編入され、震災対応訓練や地域連携防災訓練、職員の防災対応力訓練など、発災時に備えた体制づくりと職員のレベルアップに取り組んでいる。</li> </ul> <p>防災施設紹介イベントでは、防災公園となったことのアピールと防災公園の役割を知ってもらう目的のもと、かまどベンチや持出し品クイズなどを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「バラを観る会」では車いすの方でも見やすい展示などを行っている。ユニバーサルデザインを意識しており評価できる。その他のイベントにおいてもベビーカーや車いすの方のための席などを用意し、誰でも参加できる取組を積極的に行っている。</li> <li>・今後は、より多くの参加者を集められる防災イベント等を実施するなど、防災拠点としての認知度を高める取組を期待したい。</li> <li>・スポーツイベント、バラを観る会などの報告があったが、規模の大きな公園なので、もっと地域ニーズに対応した利活用の工夫が必要と思われる。</li> <li>・大規模な芝生広場と豊かな樹林を生かした砧ならではの公園利用の提案を期待したい。</li> </ul>

48	駒沢オリンピック公園	世田谷区駒沢公園、目黒区東が丘二丁目、八雲五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストリートスポーツ広場のリニューアルオープンに伴い利用者が大幅に増加する中で、愛好家団体と覚書を締結し、園内外のマナーアップに向け協働して実施していくことを確認し、ルール看板の見直しやキッズスクールでのマナー周知などを行った。</li> <li>また、長年の懸案である利用者の柵の乗越え対策として低木植栽を大幅に拡充し、一定の効果が出了。不適正な利用を改善するための積極的な取組は評価できる。</li> <li>・防災デイキャンプ、防災ワークショップなど体験型イベントの開催や区や町会、地元の商店街等と連携した防災訓練や帰宅困難者訓練の実施、生活文化局主催の外国人向けの防災訓練にも参加するなど、防災普及啓発、関係部署と連携した防災力の向上に取り組んでいる。</li> <li>また新たな取組として、サッカーを通じて防災知識を学ぶイベント「ディフェンスアクション」を開催しており、新鮮でユニークな取組として評価できる。</li> <li>・自主事業「SS広場キッズスクール」(※)は2回開催。1回目はリニューアルに併せ、ルールやマナーを周知する機会を提供し、2回目は、愛好家団体と連携してプログラム等を決め、質の高いスクールを開催した。</li> <li>(※「SS広場」は「ストリートスポーツ広場」の通称)</li> <li>・オリンピックに向けた新しいストリートスポーツとの付き合い方を是非研究して欲しい。</li> <li>・都心に近い大公園なので、都市の魅力づくりにつながるようなソフト企画を、都民や企業と協働して取り組んでいくことが望まれる。</li> </ul>
49	代々木公園	渋谷区代々木神園町、神南二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜花期や大規模イベントなど、大勢の来園者がある当公園で、迷惑・犯罪行為を抑止するために、警察との連携による巡回強化などの未然防止策の徹底を行った。</li> <li>また、園内の一部を不当に占拠する不適正利用について、新規流入圧力に対して毅然と対応するとともに、周辺住民へのきめ細かい対応により不安解消に努めた。</li> <li>・倒木事故が2件発生しており、(雑木林で倒木・人身事故、ミモザの倒木)安全管理意識や日常点検が不十分であった。(事故発生後、他の指定管理グループの公園を含め緊急点検を実施し、危険木の伐採・剪定等を行った。その後も樹木点検を強化し、再発防止を図っている。)</li> <li>・近隣町会や警察・消防などが参加する合同訓練や渋谷区合同防災訓練に参加するなど、訓練を通して地域と連携・協働に取り組むとともにイベントを通じて普及啓発を図っている。</li> <li>・公園の防災機能を広くアピールすることを目的として実施した、防災ライフフェスタでは、9月は渋谷区防災訓練と同時開催、3月には多くの企業や団体が参加して実施しており、プログラムに実践的なフィールドワークを取り入れるなどの工夫を行い防災意識の向上を図っている。</li> <li>・オリンピック記念青少年センターと協働で、秋のキッズフェスタを開催した。平成28年度は、より一体感を出すために、相互の会場が近くなるよう中央広場から幼児用サイクリングコースに場所を移して実施することにより、相乗効果を図っている。近隣団体と共催・同時開催することで費用をかけず集客効果を高めるのは、良い工夫であると評価できる。</li> <li>・立地から考えると、都民の利活用ニーズが高く、国際的に見ても日本の公園文化のレベルを問われる場所でもあるので、公園の魅力づくりやソフトプログラムをさらに充実していかれると良い。</li> <li>・文化財庭園や日比谷公園と並んで東京の顔としての風格ある公園を目指して欲しい。</li> </ul>
50	善福寺川緑地	杉並区成田東二・三・四丁目、成田西一・三・四丁目、荻窪一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラの倒木及び枝折れにより河川管理用のフェンスを破損した。安全管理や日常点検が不十分であった。目に見えにくい危険にも未然に対応されたい。(事故発生後、アメニティ巡回や樹木点検等を強化し、危険木の事前察知に努め、再発防止を図っている。)</li> <li>・尾崎橋付近の桜花期における違法屋台対策について、都と連携してバリケード等を設置し、屋台の出店防止を図った。</li> <li>・近隣と連携した防災訓練を積極的に実施するなど地域連携強化に取り組んでいる。新たな団体(成田青少年育成委員会)と防災訓練を実施しており、かまどベンチの使い方の指導などを通してコミュニケーションを図り連携を深めている。</li> <li>この訓練の実績が評価され、同じ地区内の他団体との連携訓練などにもつなげている。近隣の様々な団体と防災訓練を行い、積極的に地域との連携を図っていることは評価できる。</li> <li>・サクラの育成等の取組等をボランティア団体と協働で取り組んでおり、地域資産である桜並木の継承を、都民協働活動として取り組み、成果をあげていることは、高く評価できる。</li> <li>・善福寺川の桜をメインに置いた公園活性化に是非取り組まれない。</li> </ul>

51	和田堀公園	杉並区大宮一・二丁目、成田東一・二丁目、成田西一丁目、堀ノ内一・二丁目、松ノ木一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和田堀公園済美山陸上競技場について近隣から騒音や利用マナーなどの苦情が多く寄せられる中、都と協議しながら指定管理者として対応を行ってきた。夜間巡回の強化や注意喚起の看板設置、ベンチの移設、高木の植栽などの対策を講じた。近隣住民の苦情に対し、都と連携をとりながら粘り強く対応している。</li> <li>・改修工事に伴い、競技場の管理の見直しを都とともに行った。芝生が剥げてしまう状況であったため、主にフィールド利用についての都のルール変更に合わせて、利用再開後は、ルールを示す看板掲示やチラシ配布、当日の利用案内をわかりやすく示す看板の設置などを通じて、積極的に周知を図った。</li> <li>・杉並区と連携して地域連携防災訓練を年間を通して実施しており、地元自治会、学校、高齢者など地域の様々な方を対象にして、防災力の向上や防災意識の啓発に取り組んでいる。</li> <li>また、昨年までの親子防災キャンプを防災体験会として実施しており、火起こしやロープワーク、紙食器づくりなど、子どもが楽しみながら防災について学べ、様々な体験ができるイベントとして充実をさせている。</li> <li>・ユニバーサルスポーツやパラリンピックを広めるための体験イベントを今年度初めて開催した。車いすテニスやボッチャなど様々なスポーツを通じて、バリアフリーの大切さやパラリンピックの機運醸成につなげている。</li> <li>・和田堀公園の魅力づくりを利用者と協働で発掘し、育てていくことが望まれる。</li> </ul>
52	汐入公園	荒川区南千住八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家戦略特区の認定事業の第1号となる荒川区認可保育所の建設に伴い、保育事業者による施設の完成に至るまでに各機関と公園管理上の指導調整を行った。保育園設置のための一連の業務を適切に実施したことは評価できる。</li> <li>・隅田川花火大会に際して、関係機関と連携しながら、施設の事前安全対策や巡回警備・誘導等を実施して無事終了した。臨時売店を増やすなど利便性も向上させた。</li> <li>・ジョギングコースの水たまり解消、直営による園路灯漏水点検補修など地道な取組もきちんに行われている。</li> <li>・平成28年度から防災公園グループに編入され、発災時の初動対応訓練を近隣自治会や学校と合同で行うなど防災公園としての管理を順調に開始できている。</li> <li>・東白鬚公園と連携して開催した「防災まつり」では、公園間のスタンプラリーや近隣防災施設の見学ツアー、東京水辺ラインの水上バスによる防災船輸送訓練、水消火体験などを実施。</li> <li>地元の町会との共催による汐入まつりや区との共催による水辺フェスタなどの大規模イベントにおいても、防災に関する展示やクイズラリーや防災体験などを取り入れ、防災について広く啓発することで、来園者の防災意識の向上に寄与した。</li> <li>・東白鬚公園と連携した「防災まつり」は隅田川を挟んだ地域防災エリアを包括した重要な地域での開催であり、都民の防災意識向上に大きく寄与するものとして高く評価できる。</li> <li>・防災船着場を活用しての東京水辺ラインによる防災船輸送訓練は画期的な取組として評価できる。</li> </ul>
53	城北中央公園	板橋区桜川一丁目、小茂根五丁目、練馬区氷川台一丁目、羽沢三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラスの大量死や園内看板に対する毀損（スプレー事件）など、突発的な事案に対し、関係機関と連携して適切に対処している。</li> <li>・水害の原因分析・排水口へのネット設置やコケ繁殖防止剤の導入など、新たな工夫を試しながらきめ細かな管理を行う姿勢は、評価に値する。</li> <li>・近隣学校、企業、近隣住民、練馬区の子育て施設と連携した防災施設体験訓練や防災環境が学べる参加型イベント「環境まつり」を実施している。</li> <li>また、練馬区・消防との合同水防訓練などを実施しており、防災公園としての意義を踏まえ、地域の防災力強化に尽力している。</li> <li>・都民協働として巣箱プロジェクトを実施した。今年度は設置数を減らして営巣率を上げる取組を行った結果、昨年度の1か所から7か所の営巣利用を確認できた。近隣小学生が園内の貴重な自然や野鳥の生態を学ぶ機会となり、公園の魅力向上を図っている。</li> <li>・自主事業として古代遺跡紹介プログラムを開催した。今年度から板橋区と連携して、板橋区ふれあい文化財ウィークの1つのプログラムとして実施し、区の専門的な講師による解説を行ったことで、参加者が前年度比163%増となり、充実して実施している。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックを意識した公園独自のスポーツイベント等の企画に期待したい。</li> <li>・地域的に若い子育て世代が多く住むベッドタウン的な地域と思われるので、そのような都民の公園ニーズに応えるようなソフト企画への積極的な取組が望まれる。若い世代や子育てママが、受け身でなく、能動的に企画を出して取り組めるようなしかけづくりを、公園管理者として考えると良い。</li> </ul>

54	光が丘公園	練馬区光が丘二・四丁目、旭町二丁目、板橋区赤塚新町三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続して発生した陥没事故に迅速に対応し、東京都と連携し、陥没箇所調査及び安全対策を実施し、安全確保に努めている。連続陥没事故に対し、都との連携を取りながら迅速に対応できたことは評価できる。</li> <li>・地域連携を重視し多様な主体と防災の取組を進めている。近隣の高校、専門学校、企業等と連携して防災訓練を行ったことは、地域の防災意識を高め、公園と地域との連携を深める有意義な取組であり評価できる。</li> <li>・昨年までの「どんぐりイベント」を発展させ、「ふれあいフェスタ」を開催した。どんぐりをメインに公園に親しんでもらうよう充実させている。様々な企画により、近隣施設等の協力を得て事前PRに力を入れた結果、予定人数500名を大幅に上回る約1,100名の参加者があり、公園の魅力を向上させている。</li> <li>・NPO法人と協力しバードサンクチュアリで自然観察会を実施した。夜間の観察会や水辺の観察会など多様なプログラムを提供するとともに、キャッチフレーズを工夫したPRを行ったことにより、今年の約2倍の参加者が集まった。</li> <li>ふれあいフェスティバルや自然観察会の参加者増は評価できる。</li> <li>・子育て世代の増加している地区で、公園でのコミュニティ形成の取組が求められていると思われる。公園資源を活用した「ふれあいフェスタ」は多くの人が集まったほか、NPO法人が主体となったプレイパーク活動、NPO法人と連携してのバードサンクチュアリの管理など、都民参加の取組により公園の魅力を高めている点が評価できる。</li> </ul>
55	舎人公園	足立区舎人公園、西伊興町、舎人町、入谷町、古千谷一・二丁目、皿沼三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃぶじゃぶ池など、人が集まる施設について、過去の実績を把握、施設の事前調査を徹底し、事故を未然に防ぐ維持管理を行っている。</li> <li>・大雨や気象災害に備えて、要点をまとめた「ハザードマップ」を作成し、これに基づき点検するなど、東京都と連携して迅速な対応に努めている。</li> <li>・9回にも及び地域住民、消防署、交通機関と連携した防災訓練を実施し、地域の防災力向上と発災時の対応力向上に努めている。</li> <li>ペットの防災について考える「WANWANフェスティバル」では、初の試みにも関わらず、参加予定人数を大きく上回る参加があった。震災時のペット同行避難などゲーム形式で楽しみながら学ぶことができるイベントとして参加者向上にも努めている。</li> <li>・千本桜まつりでは、区や東京都と連携し、人気のあるエア遊具「ふわふわとねりん」や新たに実施した「フラワーアレンジメント教室」を含む各種プログラムを提供して幅広い世代が楽しむイベントとして実施している。風速計の使用やエア遊具管理士の複数人配置などにより安全対策も万全としている。</li> <li>・ふれあいフェスティバルでは、地元企業や町会と連携し、昨年よりもプログラム内容を充実させるとともに人気アトラクションの待機列解消など運営方法を改善し、さらなる地域の活性化及び、公園の魅力向上に寄与した。</li> <li>・子供達が楽しめる施設のある公園であり、造園的にも四季折々の魅力づくりへの努力を重ねている。イベントなどのソフト企画にも努力されていると感じる。</li> <li>・四季を感じる水辺の景観創出は、利用者のボランティア参加などもいただきながら、公園の魅力向上を行えた事業として高く評価できる。</li> </ul>
56	水元公園	葛飾区水元公園・東金町五・八丁目、埼玉県三郷市	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミズネコノオやオニバス保全活動に取り組んでおり、オニバスについては、来園者が観察できるよう、展示池に植替えるなど、啓蒙活動に取り組んでいる。</li> <li>・発災時における、公園の役割や防災への取組について、防災ショールームや防災訓練を通じて幅広く普及啓発を行った。新たに防災ショールームの展示として、ソーラー発電機能を備えた多機能防災倉庫を設置した。</li> <li>また、東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練では、会場の事前準備において来園者の安全確保の対策を徹底し、事故なく実施することができた。</li> <li>・地域連携防災訓練、親子耕作体験や外来生物駆除イベント等、年間を通じて地域の学校や、都民、町会、ボランティアと連携し、精力的に取り組んだことは評価できる。</li> <li>・水辺の魅力的な環境資源の保全活用を進め、ボランティアやNPO法人と協働で精力的に公園の魅力づくりに取り組んでいる様子がうかがえる。「公園のファンを拡大する」という姿勢も、高く評価できる。</li> </ul>



57	篠崎公園	江戸川区上篠崎一・四丁目、篠崎町五・六・七・八丁目、西篠崎一・二丁目、谷河内二丁目、南篠崎町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する園地を効率的に維持管理するよう、過去の利用者の要望と作業履歴や現状をまとめたデータベースを作成し、計画的な樹木剪定や施設点検を実施した。</li> <li>・消防署等と連携した「防災救急フェスタ」を開催するなど、地域と連携したイベントの実施により地域防災力向上に貢献している。</li> <li>・震災被害を教訓に新規に「ペット防災セミナー」を開催した。ペットと同行避難する際のマナーやしつけ法、避難所での共同生活、大規模災害の被災地で起こっていたことなどについて啓発を行い、防災対策の幅を広げたことは評価できる。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックに向け、気運醸成を図るためにオリンピックによる子ども向けスポーツ教室「キッズアスレティックス」を開催した。近隣小学校にチラシを配布するなど、積極的にPR活動を行った。参加者によるアンケート結果では、90%以上の方から高い評価を受けた。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツプログラムの開発に力をいれている点が評価できる。</li> </ul>
58	葛西臨海公園	江戸川区臨海町六丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接地がオリンピック・パラリンピック会場になるという特殊な条件下にあって、イベント申請への対応や日々の維持管理を東京都との連携を保ちながら高い水準で行っている。</li> <li>・地震発生後に避難者がいる想定で、近隣自治会、江戸川区、葛西消防署、水辺ラインと連携防災訓練を実施、園内の防災施設を体験する防災キャンプを開催するなど実践的な取組を行っている。</li> <li>防災ショールームでミニイベントを年間通じて実施するほか、葛西臨海水族園と連携して地震等発生時の避難誘導訓練を実施しており、参加者に防災公園の機能や発災時における公園の役割を学んでもらうなど防災に関する普及啓発に取り組んでいる。</li> <li>避難誘導訓練では、炊出し訓練など独自の普及啓発を行っており、防災ショールームでの随時のミニイベントと合わせ、高い意欲が感じられる。</li> <li>・四季を楽しむイベントを開催し、多くの来園者が訪れている。冬のイベント「水仙まつり」では初の試みとしてスイセンのライトアップを実施した。職員とボランティアで協働し、新たに1万球の球根を植え付けるほか、LEDの灯光器を直営で設置するなど、約30,000人（前年比150%）の集客という成果を上げたことは高く評価できる。</li> <li>・水族園と合わせて観光的な集客性を狙うべき公園である。スイセンの名所づくり、噴水の景観向上など多くの来園者が楽しめる特色ある公園の魅力づくりをさらに広げていっていくと良い。</li> </ul>
59	武蔵野中央公園	武蔵野市八幡町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み期間の7～8月に若者の夜間騒音や花火など不適正利用を防止するため、職員と警備員による夜間巡回、警察の協力による深夜パトロールに加えて、地元町会との防犯パトロールを実施した結果、苦情が発生しなかった。11月には消防署と合同夜間パトロールを実施している。</li> <li>地元警察・住民と連携して、夏季の不適正利用を未然に防止したことは評価に値する。夏以降も地元との良好な体制を維持し、地域を挙げて公園の利用を見守る体制が出来上がっている。</li> <li>・広大なはらっぱ広場の草刈り作業において、「作業中」の掲示、園内放送等で注意喚起に努め、利用者に作業の理解と協力を得て年18回の芝刈りを実施、良好な状態を保っている。</li> <li>・平成28年度から防災公園グループに編入されており、「大規模救出救助活動拠点」としての初めての防災フェスタを武蔵野市と共催で実施した。警察、消防、自衛隊等18団体の協力で初期消火、AED等の体験型訓練とパネル展示による啓発を実施、悪天候の中、約1,200人の参加を得た。</li> <li>・3月に武蔵野消防署と連携して「わんぱく防災フェスタ」を実施、親子や子ども向けのゲームやワークショップ形式で楽しく参加できる「紙食器づくり」、「持ち出し品なーに」、「水消火器訓練」、「煙体験」等を実施。530人の参加を得て、防災への関心を高めている。</li> <li>・大規模な防災フェスタの実施により、地域住民が避難場所を理解し、有事の際をシミュレーションする体験を共有できたことは高く評価できる。</li> </ul>

60	府中の森公園	府中市浅間町一丁目、緑町二丁目、天神町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃぶじゃぶ池と流れの水源である井戸水のポンプの揚水能力がゴールデンウィークには5分の1まで減衰し、安定水量の確保ができなかったが、揚水管の劣化を確認、交換を実施し、漏水箇所は止水材の圧力注入により補修し、延べ4万人の利用者に安全・安心を提供している。</li> <li>・平成28年度から防災公園グループに編入されており、府中市や地元自治会、警察・消防・自衛隊との関係構築に取り組み、大規模な防災訓練・防災フェスタを初めて開催した。</li> <li>府中市防災危機管理課の広報活動や自治会との連携により、3月の防災訓練では12の自治会、町会と公園に隣接する美術館などから延べ180人の参加者が集まった。公園の防災施設や避難場所等について説明を行い、地域住民との協力関係を深めるとともに、防災意識の向上を図っている。</li> <li>・「彫刻ガイドツアー」や「彫刻クイズスタンプラリー」を実施することで、美術館との関係強化を図るとともに、公園の魅力向上に寄与している。</li> <li>花や彫刻による魅力づくりなど、地域の人材を活用しながらの地道な努力が感じられる。</li> <li>・東京農工大学の協力で、自主事業「どうぶつふれあいフェスタ」では、「ミニホース乗馬体験」「動物絵本の読み聞かせ」をはじめ、多くの子どもたちが動物と触れ合う機会をつくり、生き物への思いやりを感じる場を提供しており評価できる。</li> <li>・近隣の美術館・大学とは他のイベントでも連携ができており、地域との良好な関係構築に成功している。</li> </ul>
61	武蔵野の森公園	府中市朝日町三丁目、調布市西町、三鷹市大沢五・六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のNPO法人等と連携した「のびのび親子館」では、福祉保健局のアドバイスを基にした衛生管理を徹底している。</li> <li>・東京都が実施した訓練では、発災時に大休憩舎を使用できるようパーテーションをすべて引き出し詰所として使用する訓練を公園協会から提案、発災時に必要な機動班員の防災力向上に大きく貢献した。</li> <li>・府中市、調布市、三鷹市による三市合同防災訓練において乳幼児や高齢者、外国人を対象とした訓練、防災フェスタでは乳幼児に対応した応急訓練を取り入れるほか、隣接する特別支援学校の避難訓練への支援を行うなど、災害時の要支援者に対する取組は評価できる。</li> <li>・近隣自治会に働きかけ、新たに南地区花壇ボランティアを立ち上げた。北地区と南地区及びプロムナードでの協働による花壇づくりを推進することで、近隣住民が中心の参加者と既存の花壇ボランティアとの交流ができ、地域コミュニティの活性化につながり評価できる。</li> <li>・「のびのび親子館」では、「お話し会」、「乳幼児の応急救急訓練」、「工作教室」、「ファミリーヨガ」等、利用促進プログラムを年間を通して51日間実施、延べ1,432人の参加があった。成長段階や家族といった異なる対象に合わせたプロジェクトを展開することで地域の中の子育てをサポートする施設として定着した。</li> <li>・親子館でのファミリー向けの講座等を発展させ、利用者の主体的な参加を促し、公園も一体的に利用してのソフト企画が広がっていくことを期待したい。</li> </ul>
62	小金井公園	小金井市桜町三丁目、関野町一・二丁目、小平市花小金井南町三丁目、西東京市向台六丁目、武蔵野市桜堤三丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間のさくらの園での火気の持ち込み行為対策では、夜間特別安全パトロールを実施し、不適正利用の改善に努めた。</li> <li>・農園芸職員が中心となり、安全確保や機械の整備、操作等基本事項をブロック内職員に指導し、意識の再確認と技術向上を図った。</li> <li>・園路の冠水対策などの安全安心の取組も着実にやっている。</li> <li>・施設の長寿命化に向けて、園内灯や放送支柱の塗装を実施し、景観改善を図った。</li> <li>・小金井市、小平市、西東京市、武蔵野市による4市合同訓練による発災時初動対応力の向上、近隣自治体や警察・消防・自衛隊と連携した防災フェスタの開催、特別支援学校との防止訓練の実施など関係機関との連携強化、地域の防災力の向上に取り組んでいる。防災フェスタでは、大がかりなデモンストレーションや普及啓発ブースを拡充し、また、4市合同防災訓練では、要配慮者訓練を追加するなど防災の取組を充実させている。</li> <li>・企業CSRや近隣大学等の清掃活動を受入れているほか、12月にはボランティア、利用者、活動団体、近隣住民に積極的に声をかけ「年末大掃除作戦」を実施、今年の1.5倍となる約300人が参加した。</li> <li>・約2万本のコスモスを堪能する機会を提供した「秋のまつり～コスモスまつり～」をはじめとして、家族で楽しめる「子どもフェスタ」、季節ごとの公園の魅力を活かした「四季の花まつり」、水景施設を持たない小金井公園に水に関するプログラムを取り入れた「子どもわんぱく体験」など、季節や利用客を勘案した工夫等で成功に導いたことは高く評価できる。</li> <li>・5月の行幸啓においては、限られた準備期間の中で植栽管理・清掃を実施するとともに、東京都や警察、宮内庁など多くの機関と調整しながら警備体制の構築などの準備を行った。きめ細やかな植栽管理を行うことで、両陛下に散策を楽しんでいただける環境を整備したことは、特筆に値する。</li> </ul>

63	東村山中中央公園	東村山市富士見町五丁目、美住町一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心、安全のため、支障枝や枯損木の処理を実施し、来園者や近隣施設への被害等を未然に防いだ。</li> <li>防犯や美観に配慮した樹木管理は来園者の評判も良く評価できる。</li> <li>・園内全域の排水設備の機能改善をはかるため、木の根や堆積土の除去を実施し、機能回復が図れた。</li> <li>・支障枝や枯損木の除去、園内外での見通しを確保するための低木剪定など、地道な管理行為も適正に行われている。</li> <li>・平成28年度から防災公園グループに編入されており、「大規模救出救助活動拠点」になったことの認知度向上に取り組んでいる。</li> <li>関係機関との連携により「防災フェスタ情報会議」を開催し、初年度から充実した防災フェスタを実施している。</li> <li>警視庁航空隊のヘリコプター離発着実演を行ったことなどにより、多くの参加があり防災公園としての認知度向上につながった。</li> <li>初の公園主導による防災フェスタの開催で多くの参加者を集めており、防災公園としての管理開始は順調である。</li> <li>・地域住民と協力して公園の「うり」となるような特色づくりに取り組んでいくと良い。</li> </ul>
64	東大和南公園	東大和市桜が丘二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元から要望のあった旧日立航空機立川工場変電所跡周辺の平和広場への標柱の設置を迅速に対応した。</li> <li>・平成28年度から防災公園に編入されており、避難場所、大規模救出救助活動拠点等の機能を的確に発揮するため、地元市との連携、協力関係を構築した。地域の自主防災組織、東大和市防災安全課との連携による防災施設見学会を実施し、防災公園の役割、機能を説明、普及啓発を行った。</li> <li>・東大和市、消防署、警察署と連携して「防災フェスタ」を実施、防災ワークショップなどで防災意識を醸成している。</li> <li>・地元官公署との連携による防災フェスタ、東大和市との連携による防災施設見学会、防災デイキャンプなど、新たに防災公園となったことを踏まえた管理を意欲的に行っている。</li> <li>・何かひとつ「うり」となるようなテーマを考えて、地域参加でそれを磨き上げていくと良い。</li> </ul>
65	秋留台公園	あきる野市二宮、平沢	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バーベキュー利用者による路上駐車防止のため、職員が交代で早朝出勤し、特別警戒にあたったことで迷惑行為を解消した。</li> <li>・部分的に裸地化が進む芝生に関し、新規の整備機材を導入し整備計画を作成、各作業を直営で実施し、競技場の芝生を良好な状態に保っている。</li> <li>・園内のベンチ等を直営による補修計画を作成、実施し、施設に応じた補修方法で4年サイクルの工程を組み、今年度で作業を完了し、施設の長寿命化を図ったことは評価できる。地道な維持管理も計画的に、適正に行われている。</li> <li>・平成28年度から防災公園グループに編入され、これまでに築いてきた地域との関係を活かし、「障がい者防災・スポーツフェア」、「防災フェスタ」を開催し、多数の参加者を集めるなど、防災公園として順調な管理を開始している。</li> <li>・自主事業の工作教室では、多摩産材の「丸太切り」を行うことで地域産業の普及啓発を図ることができ、さらに職員の丁寧な指導が好評で、アンケート満足回答で100%を得ている。</li> <li>・「ローズフェスタ」では、要望のあった園芸教室を新たに取り入れたほか、地元商店による飲食を充実して実施している。多くの告知手段を開拓し、年間参加者は過去最高の3,000人となった。7割が初参加者であり、公園のファン層の拡充が図れている。</li> <li>・地元との連携による、バラをテーマにした魅力づくりが評価できる。フリーペーパーの発信による、きめこまかな情報提供も効果をあげている。</li> <li>・「ローズフェスタ」や「丸太切り」の自主事業イベントが好評で、入園者の増加につながったことは評価できる。</li> <li>・障がいの有無に関わらずスポーツを楽しむ「ユニバーサルスポーツ祭」では、昨年度の2倍を超える市町村チームの参加があり、市や関係機関からも多数のスタッフ及びボランティアが参加するなど、西多摩地域におけるユニバーサルスポーツの拠点化に向けて大きく前進し、東京パラリンピックの機運を高める一大イベントとして地域に定着した。</li> </ul>

グループ全般

- ・東京都現地機動班参集先となる11公園で総合防災部と合同で現地機動班参集訓練を実施し、大規模救出救助活動拠点としての対応力強化を図ったことは重要である。

新規に編入された8公園を加えた21公園を防災という切り口でまとめていくためには本部機能の充実が不可欠である。

これら21公園は個々に、都を代表する大規模公園であるので、それぞれの個性を引き出す努力を期待したい。

- ・近時ポケベルの持つ周波数帯を活用した連絡体制が注目されている。既に活用されているかもしれないが、衛星回線等だけでなく、多様な連絡網の構築に一層努力されたい。
- ・防災公園としての役割をしっかりと果たしている姿勢は評価できる。ただ、このグループの管理する公園は、代々木公園などのように東京という都市の魅力づくりに大きな影響を持つ施設も多く含まれている。都民も大きな関心を持っていると思われる。

都民参加で公園ごとの魅力づくりのアイデアを練ったり、マルシェやピクニック的な若い世代が求めるような利用促進を図るなどの積極的な取組を期待したい。

また、「公園へいこう！」というサイトだけでは、各公園の魅力が伝えきれないように感じる。各公園なりのHPやFBを立ち上げるなどして、公園の魅力発信に工夫をお願いしたい。

- ・防災公園としての役割を果たしつつ、イベント等の積極的展開など魅力向上への取組も評価できる。
- ・総合防災部と合同で現地機動班実地訓練を行うなど、防災公園の管理者に求められる、高い意識を保持している。組織（公園協会）として保持している高い造園技術を活かし、複数の公園の職員が大規模に共同作業を行うことで、良好な景観・公園環境の実現につなげている。

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 文化財庭園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
66	浜離宮恩賜庭園	中央区浜離宮庭園	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年の降雨や踏圧で劣化した「新樋ノ口山」の補修に際しては、土居木段の位置や段数などに過去の資料と照合するなど、文化財への意識を徹底した取組を行い、主要景観を適切に保全している。</li> <li>・そのほか、鴨場の盛土修復、実生木除去、竹垣更新や、一般の目が届かない外周部においても適切な剪定を行うなど、良好な管理が行われている。</li> <li>・ヴェルサイユ国立高等造園学校のインターンシップ受け入れを含め、お茶会などの庭園を舞台とした国際交流も順調に進めるなど高く評価できる。</li> <li>・国際交流のノウハウを持つ地元団体などとの関係づくりを行い共催イベント「浜離宮恩賜庭園ではがきに絵を描いてみよう！」では、参加者28人中19人の外国人の参加があり、アンケート調査で96%の方から高い評価を得た。</li> <li>・「Let's 茶の湯」を5日間開催し、301人の参加があり、うち120人の外国人参加を得られた。日本人、外国人ともに隔たりなく参加できるイベントを新たに実施することにより、庭園を舞台にした国際交流を展開した。</li> <li>・日本の庭園文化を伝えるための施設としてますます重要性が増しており、そのニーズにしっかりと答えていると感じられる。</li> <li>・外国要人の来訪が多く、「セキュリティや”おもてなし”」についても万全の態勢が出来ている点は評価できる。</li> <li>・対応ノウハウや実績を積み重ね、外国人、とりわけ各国の要人の視察等を通じて、庭園の魅力や日本文化を発信する拠点となっている。イベントの実施や、景観を保つ努力により入園者数も過去最高を記録し、多くの方に庭園の魅力を伝えることができている。</li> <li>・庭園の景観に加えて、建物（御茶屋）が少しずつ復元され、江戸の風景をより堪能できるようになってきた。さらに、舟運を活用する等水上からの楽しみも実現できるようになってもらいたい。</li> </ul>
67	旧芝離宮恩賜庭園	港区海岸一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化が顕著となり崩れや陥没等が発生している護岸の補修を継続して行っており、これまでに200mの補修を完了。景観の回復に努めている。また、史資料を踏まえた植栽管理など、適切な維持補修が行われている。</li> <li>・「三番叟の演奏会」、「桜の演奏会」、「七夕演奏会」、「11月の津軽三味線演奏会」を実施。オフィス街という特色に合わせてお昼休みの時間に行うなどの工夫で大幅な入園者増を確保したことは評価できる。</li> <li>・近隣の文化放送主催のイベントに協力団体として参加し、HPやラジオ放送でのPRにつなげるなど、広報活動に積極的に取り組んだ。</li> <li>・地元竹芝地区のまちづくり協議会への参加や小田原市との連携による相互PRなど、関係機関との連携に努めた。</li> <li>・四季折々のイベントの企画が充実しており、観光的なニーズに応える努力をしている。</li> <li>・オフィス街という立地条件を踏まえ、周辺企業との連携を深める姿勢は評価できる。</li> </ul>
68	小石川後楽園	文京区後楽一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外周緩衝帯の記録や紅葉林の景観修復、小廬山の稜線維持に努め、適正に植栽管理や支障木の処理が行われている。</li> <li>・平成26年に倒木した大径木のカヤを板材として活用するために2年間自然乾燥で保管していたが、これを用い新たな園名板を制作した。</li> <li>・弘道館、水戸市植物公園及び水戸市と連携し、「水戸藩の名君 光圀・斉昭をめぐる薬草展」を新規に開催したことは評価できる。庭園ボランティアも特別ガイドツアーを行うなど積極的に協力し、サービスセンターとボランティアが一体となり庭園の魅力アップに努めた。</li> <li>・文京ミュージックフェスタへの出展など、区内他施設との連携を強化する取組が行われている。</li> <li>・薬草園としての特色を生かした企画により、上手に魅力をPRしていると感じる。オリジナルの園名板のデザインなど、ディテールにもこだわった造園が評価できる。</li> </ul>

69	六義園	文京区本駒込六丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大泉水周辺の実生木を処理し、隠れていた築山や野筋の稜線が明瞭となり、奥行を感じさせる景観へと改善するなど、景観向上を図る維持管理を実施した。往時の良好な景観を取り戻すことに成功している。</li> <li>・四季の自然を活かした、枝垂桜と紅葉の「大名庭園のライトアップ」を実施。開催時の来園者が40.2万人になるなど来園者を獲得し、充実したイベントとなっている。</li> <li>また、この規模のイベントを、警備員の配置、警察との連携等に留意して、トラブルなく終わらせていることは、高く評価したい。</li> <li>・ツツジのイベントでは近隣の名所である根津神社や、JR駒込駅と連携して周遊性の高い特別展示を行うほか、アジサイのイベントなど、趣向を凝らした催しを今年度も実施し、定着化を図った。</li> <li>・ヴェルサイユ国立高等造園学校のインターンシップ受け入れを新たに実施した。サツキの刈込み、モッコクの手入れなど充実したメニューを用意し、日本庭園ならではの伝統技能や文化を伝え、海外への事業普及に寄与している。</li> <li>・3年連続でトリップアドバイザー・Certificate of Excellence (エクセレンス認証・ロコミで旅行者から一貫して高い評価を得ている施設に与えられる認証) 4.5を獲得し、都内2,938施設中34位の観光地として評価を得ており、利用者からの評価が高いことも伺える。</li> <li>・枝垂桜と紅葉はライトアップを含め、東京における春秋の季節の風物詩であり、日本全国の注目を集めている。こうした評価は高度な技術・技能の継承に裏打ちされており、大変高く評価できる。</li> <li>・造園に関わる人材育成の取組自体を文化事業としてPRしているところは、庭園の魅力の奥深さを伝える上で大変効果をあげていると感じる。</li> </ul>
70	旧岩崎邸庭園	台東区池之端一丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天井のたわみ箇所の補修について、重要文化財保全を意識して取り組み、き損を防ぐための応急処理を実施した。</li> <li>また、館内トイレの排水管のつまり対応などの修復の際は、これまでの修理履歴を史資料として保管してきたことで、迅速な対応を行った。補修履歴の強化は必要性の高い取組であるので、しっかりと取り組んでいただけるよう希望する。</li> <li>・建物修復技術などのノウハウの積み上げもしっかりとされている。</li> <li>・建築120年を記念し、有識者を招いたシンポジウムや建材の展示を行い、建築を楽しむ新たな視点を提供した。通常非公開の撞球室をパネル展示会場として活用したり、旧岩崎邸初期計画図案や茅場町本邸内実測図の現物を初展示、初公開するなど、保有する資源を有効に活用した。</li> <li>都による修復工事が行われており、洋館の外観が一部見られなくなるなどの制限が生じる中でのイベント等の積極的展開や文化財保護に関する普及啓発は大変評価できる。アンケート結果においても総合満足度が4.9と前年度を上回る高水準となっており、工事による入園者数の減も最小限に抑えられている。</li> <li>・重要文化財のもつ物語性や魅力をきちんと守り、来訪者に伝える努力が効果をあげている。</li> </ul>
71	向島百花園	墨田区東向島三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初代園主の著作に基づきウメの古典品種を捕植するなど、作庭意図を尊重した維持管理を行っている。庭園の価値を踏まえた適正な取組として評価できる。</li> <li>・大学との連携によって、成育土壌の経年劣化や周辺環境の変化といった植物の生育上の課題に取り組んでいる。今後に期待したい。</li> <li>・「季節を感じる和菓子作り教室」を今年度は実施回数を3回に増やし、季節ごとの植物にちなんだ和菓子を通して四季折々の魅力を紹介しており、ユニークなイベントとして評価できる。広報に力を入れた結果、各回定員を上回る応募があった。</li> <li>・百花園の歴史を生かして、日本の花文化を世界に伝えるプログラムを開発している点が評価できる。</li> <li>・ターゲットを絞った英文チラシや英文リーフレットの配布により、外国人の利用者数増加に成功している。</li> <li>・利用者目標数14.4万人に対して、実績数12.1万人で、目標を達成出来なかった。</li> <li>・オリンピックに向けて、いろいろな文化的なコラボレーションを企画し、オリジナルデザインによる展示、グッズづくりなどに広げると良い。</li> </ul>

72	清澄庭園	江東区清澄二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庭園の景の焦点である「富士山」の修景を主体とした景観改善を実施。富士山の修景や支障木処理により、作庭意図が効果的に現れた景観へと改善したことは評価できる。</li> <li>・近隣教育施設と連携し、外国人に日本文化を体験してもらおうイベントを実施。外国人への日本の魅力発信だけにとどまらず、教育面での効果も期待できるユニークな取組である。</li> <li>・ヴェルサイユ国立高等造園学校のインターンシップ受け入れを新たに実施した。清水垣の更新作業を行ったが、日本庭園ならではの伝統技能や文化を伝えている。</li> <li>・日本庭園の魅力を、竹垣などの目に見えるわかりやすいところで伝えていく工夫が評価できる。</li> <li>・これからさらにニーズが高まるであろう日本文化体験もさらに広げていってほしい。</li> </ul>
73	旧古河庭園	北区西ヶ原一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に枝折れによる人身事故が発生した。日常の安全管理の不備を示すものであり、反省と改善を求めたい。（事故発生後、園内の樹木点検を強化するとともに、樹木医による指導の下、剪定・伐採を実施した。他の庭園においても情報を共有し、安全対策の強化と再発防止を図った。）</li> <li>・春、秋のバラフェスティバルでは、初めてマスコミ向けライトアップ撮影会を実施したことで各媒体の掲載につながった。庭園固有の資源を上手にPR・活用し、イベントとしての魅力を高めることに成功している。</li> <li>また、一般の方対象の「ライトアップ特別撮影会」を開催した。40人の応募枠に対し199人の応募があり利用者ニーズの高い効果的なプログラムとなった。</li> <li>・利用者からの要望が多かった、バラの解説冊子「ROSE 旧古河庭園のバラ」を作成・配布し、旧古河庭園の魅力を発信したことは評価できる。</li> </ul>
74	殿ヶ谷戸庭園	国分寺市南町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬車道におけるモッコクの手入れにおいて、馬車道の作庭意図に基づき、モッコクの遮蔽機能を保ちつつ自然樹形で整える高度な植栽管理を行ったことは評価できる。</li> <li>・施設の補修時に土居木階段を二次林の風景になじむ剥き丸太を素材とした太鼓落としに変更し、自然素材の醸し出す景観演出ができています。</li> <li>また、不揃いだった垣根をロープ柵へ統一したほか、鑑賞の妨げとならないようロープ柵を低く、柱間隔を広くするなど、地道な措置を積み重ね良好な景観を回復している。</li> <li>・子供向けの体験プログラム、ボランティアと連携しての文化財保全など、文化体験施設としてのソフトの充実は大変高く評価できる。今後も創意工夫を重ね、一層の集客につながるイベントの開催を期待したい。</li> <li>・庭園技能伝承研修として「馬車道モッコクの手入れ」を実施し、植栽管理に関する高度な技術を若手技能職員に身に付けさせ、技能伝承を図っている。</li> </ul>

グループ全般

- ・庭園の持つ特性や作庭意図に沿った適切な景観形成を図り、文化財の適切な維持管理を行うとともに、庭園技能伝承研修実施などにより高度な技術・技能の継承に著実に取り組んでおりその成果は顕著なものがある。
- ・海外インターンシップの受入などにより、日本庭園の伝統技能や文化を伝える取組を実施するとともに、歴史や伝統を発信するイベントの開催や、外国人向けのイベントを開催するなど、文化財庭園の魅力発信についても積極的に取り組んでいる。
- ・利用者も過去最高を記録し、各園の満足度も高い水準を守っている。
- ・今後入園料の見直しを含むオーバーユースについての検討を望む。
- ・グループ全体として、庭園の管理運営を通して、日本の庭園文化の魅力発信に大きく貢献していると感じられる。
- ・ハードおよびソフトのノウハウが相当積み上がっていると感じられる。
- ・ホームページも、それぞれの特徴を伝える工夫がされているが、外国人が旅行中にいつどのようなプログラムが体験できて、どのように予約できるかについての丁寧な案内があれば、さらにインバウンドの観光に結び付いていくと思う。
- ・9庭園とも総合満足度はもちろん、全項目にわたって利用者の評価が高い。このことは有料施設として非常に重要なことである。
- ・グループ各園を通じ、庭園管理の伝統技能を継承する取組を継続して行っている。目立ちにくいが高価値ある取組であり、着実な継続を期待する。海外インターンシップの受け入れも、公益的団体でなければ難しい事項であるが、適正に実施されていた。文化財庭園は、日本文化発信の主要拠点であるため、今後も都をはじめとする行政各機関との関係を維持し、庭園の充実・魅力の発信に努められたい。
- ・各庭園において、文化財や庭園等の学識経験者を「庭園アドバイザー委員」として委嘱して、保存管理計画に基づく課題や懸案事項の確認、解決のための方策に関する助言・指導を仰ぎ、文化財庭園の維持管理業務を適正に進めている。



平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 神代植物公園 （指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
75	神代植物公園	調布市深大寺元町二・五丁目、深大寺北町一・二丁目、深大寺南町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物多様性センターにおいては、平山城址公園の生き物共同調査、都内のツレサギソウ自生地における個体数調査や人工授粉による個体数増殖、ムギランの保護カルテ作成、新宿御苑との連携によるハマカキランの種子保存など、他団体と協力して生物多様性・希少種の保全に関する多くの成果を上げている。</li> <li>・大温室改修工事によって導入された植物に加え、補植した植物等を統合し温室に植えられた植物約300種のデータベースを職員直営で作成し、お客様からの問い合わせへの迅速かつ的確な対応、展示植物が枯死した場合の補植検討等に活用した。</li> <li>・古文献で振り返る江戸の園芸文化展を2回開催し、職員による展示解説や専門家による講演会を実施し、植物園の魅力発信に積極的に取り組んだことは評価できる。さらに、広大な園地部分におけるバラだけではなく植物園としての魅力の発掘と発信を期待したい。</li> <li>・伊豆諸島の保全団体と協力して初めて写真展「伊豆諸島に咲く花～カサブランカ、アジサイ、ソメイヨシノの原泉～」を植物多様性センターで開催した。厳選した77点の貴重な植物写真を展示し、5,517人の来館者や農学系大学生等に島嶼部の植物多様性や保全の重要性をアピールすることができた。</li> <li>・植物園として多くの種を育成し、江戸園芸文化の魅力発信などの文化プログラムにも努力が見られ評価できる。</li> <li>その資源を生かし、植物園に興味のない層も取り込むような植物園の楽しみ方の提案、デザイン性の高いPRやインフォメーションなどの工夫をさらにされていくことが望まれる。</li> <li>・江戸園芸の展示は有意義であるが、草花だけでなく、当時の人々の風俗（盆栽を売り歩く人等）も開示する等見る側にとってより興味をもたらしようなものが望ましい。それにより、外国人の興味を引き、観光につなげられるような工夫がさらにほしい。また、黄色の朝顔等ほぼ絶滅したとされるような草花の目玉展示も望ましい。指定管理期間で、利用者数目標をぜひ達成していただきたい。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 夢の島公園・夢の島熱帯植物館（指定管理者：アメニス夢の島グループ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
76	夢の島公園	江東区夢の島一・二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的実施している接遇研修や、朝礼で実施している笑顔体操など、窓口業務の向上に取り組んでいる。</li> <li>園内の状況把握・点検を強化し、危険箇所や不具合箇所について情報共有・周知伝達を徹底することで、安心安全の確保に努めている。</li> <li>「子どもラン大賞」の工作授業など、近隣の学校に出張して授業を行っている。工事に伴う園内状況変化の中、園内にとどまらない地域連携活動の活性化を図ったことは大いに評価できる。</li> <li>オリンピック・パラリンピック工事に伴う園内状況変化に対して東京都と連携を取りながら柔軟に対応し、イベント調整や適切な公園管理を行っている。</li> <li>コロシウム広場の閉鎖前には新規イベント「夢の島公園まつり」を実施し、公園の魅力向上につながった。また、閉鎖されるコロシウム広場を補うものとして新たに芝生広場を確保したことは、評価できる取組である。</li> </ul>
77	夢の島熱帯植物館	江東区夢の島2-1-2	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な施肥と植替により展示植物の開花・結実に努めている。植物名はAPG分類（被子植物の分類体系）に基づいて目録と樹名札の更新を的確に行っている。</li> <li>小笠原固有種の繁殖、管理の実績は高く評価でき、今後も館を特徴づける取組として継続して欲しい。</li> <li>夏と冬に夜間開館を実施。夜に咲く花や、夜間に香りを放つ花、葉を畳む植物など、夜にしか見られない植物の姿を案内、展示した。夏は、歌・ダンスステージを開催、冬は、植物館内の様々な場所をライトアップや装飾を行うなど、普段とは違う観覧環境を提供した。</li> <li>年間の取り組みとして、東日本大震災で被災した地域の学校に花の種を届ける「花を届ける夢の折鶴プロジェクト」を実施。昨年よりも多い61施設へ送り、復興支援を行った。</li> <li>公園の主要エリアが閉鎖される中、オータムフェスタ等のイベントにより10万人の来館者を確保した。</li> <li>今後も工事が続く厳しい環境にあるが、現在の資源を最大限に活かし、館の魅力発信を強めることを期待したい。</li> <li>多くの自主事業を長年継続的に実施しており、老朽化した施設の魅力向上に寄与している。できれば、それらの参加者が近隣の人々だけでなく、遠隔地や海外の顧客を積極的に呼び込めることを期待する。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>公園のすばらしい施設や園芸資源を生かして、さまざまな企画に取り組まれていることが評価できる。さらに緑の中のオープンカフェ、南国の植物を使ったメニュー、ここでしかできない体験を充実させるなど、観光施設としての集客につなげていくことが求められているように感じる。そのために、民間事業者等とのタイアップを模索するなどの取組もあって良いのではないかと思う。それにより、ディスプレイもより一層魅力的なものになるように思う。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 潮風公園・台場公園（指定管理者：東京臨海副都心グループ 指定期間：平成28年4月～平成38年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
78	潮風公園	品川区東八潮	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内での占有権を主張していた不適正利用の滞留者に対して、東京都、湾岸警察署と連携して是正に向けた指導を延べ12回実施した。現場には本社職員も参加し、写真等による詳細記録や指導のやり取りを行うなど、万全の体制で対応した。</li> <li>また、地元区福祉事務所と連携し、自立支援に向けた巡回相談を行った。その結果、滞留者本人が直接福祉事務所へ赴き相談を行うなどの改善が見られた。</li> <li>園の適正利用に向けて、強い意志を以て取り組んでいることが伺える。</li> <li>お台場という特殊な立地ならではの公園管理上の課題に向き合い、求められるニーズに応えられる努力をしている。</li> <li>多言語化やHPからダウンロード可能にするなどのパンフレットに関する取組は評価できる。</li> <li>ピクトグラムを活用した案内板の設置や新たな取組であるウェルカムガーデンの設置を行い、公園の魅力向上を図った。</li> </ul>
79	台場公園	港区台場一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>立入禁止区域へ侵入する来園者に対し、粘り強くルール指導を行うなど、適正利用に向け地道に取り組んでいる。不具合箇所の早期発見に努めるとともに、景観に配慮したクロマツの剪定など適切に管理を行っている。</li> <li>また、台風などが想定される際には、事前の巡回による危険個所の発見、台風通過直後の巡回点検など安全確保に努めている。</li> <li>国指定文化財（史跡）である台場公園の歴史的資源を活用した史跡パネル展を通年に渡って実施し、歴史や史跡の紹介など公園の魅力を広くPRした。歴史的資源の積極的広報と利用者の理解を広めていくさらなる工夫や努力を今後も期待したい。</li> <li>「ゴミ拾いイベント」を継続して実施しており、台場公園の歴史を紹介しながら隣接するお台場海浜公園を清掃を行うもので、120名の参加があり好評を得ている。</li> <li>文化財ウィークへの出展は、通常接点のない場所でのPRと思われるが、意欲を持って取り組んだ結果と言える。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>お台場海浜公園を含む3公園一体利用を念頭に置いたイベント、清掃活動などを積極的に推進していただきたい。</li> <li>オリンピック・パラリンピックに伴う園内状況の変化に対応して安全確保を図っている。</li> <li>港湾局所管の海上公園とのつながりが深い地域であるが、建設局との連携も保ちながら適正な管理が行われている。特に潮風公園については、オリンピックの競技場が設置され、管理上の難題も今後発生すると思われる。引き続き都各局との連携を保ち、機動的かつ迅速な対応が行われることを期待する。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 横網町公園（指定管理者：公益財団法人東京都慰霊協会 指定期間：平成28年4月～平成33年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
80	横網町公園	墨田区横網二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合遊具の安全対策として、マットを設置し、事前の安全措置を図っている。また、身障者用の駐車場を正門付近に整備しており、利用者に配慮した管理を行っている。</li> <li>・流れの石橋の再現、マツの仕立物の補植により、日本庭園エリアの景観の再生が進んでいる。</li> <li>・冊子「わたしの空襲体験とその後」の各方面への配布や、近隣の施設にパンフレットを配置してもらうよう働きかけを行うなど、横網町公園の意義を伝えるためのPRを積極的に行った。また、マスコミ取材に丁寧に対応することにより、新聞記事掲載、テレビ放映などに結びつき、防災意識の啓発に寄与した。</li> <li>・慰霊堂の修復及び復興記念館展示の改修により利用者の増加がみられる。これを機会に横網町公園の意義を伝えるためのPRをさらに進めるとともに、来園者に居心地の良い空間を提供することを積極的に進めて欲しい。</li> <li>・春季・秋季の特別展では、それぞれ違った視点から慰霊堂・慰霊協会をPRすることができた。関東大震災100年を見据えた準備会の発足も、当公園・慰霊協会の存在の本旨に沿う前向きな取組であり、着実な進展を期待する。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックを契機に、外国の方に向けてインフォメーションがされ、多くの方に足を向けていただけると良いと思う。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京臨海広域防災公園（指定管理者：西武造園(株)・(株)NHKアート共同体 指定期間：平成28年4月～平成32年1月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
81	東京臨海広域防災公園	江東区有明三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花修景の充実、ウッドチップによる自然小道の延伸、夏期の熱中症対策（シャワーミスト設置、日傘無料貸し出し）など、快適でくつろげる公園づくりが進んでいる。</li> <li>・公園の特色を生かした防災モーターショーは新規出展車両や災害ドローン救援隊の新たな協力を得て、都民の防災意識の向上につながる当公園の代表的なイベントとなっている。</li> <li>平成28年度はプレイベントとしてミニぼうさいモーターショーを初開催し、より多くの集客と情報発信につながった。関連するイベントについても楽しみの要素も交えながら頻繁に実施されており、着実な対応として評価できる。</li> <li>・建物・遊具等がない制約の中で、広大な広場を活かした多彩なイベント展開が目を見く。</li> <li>・防災イベントは当該公園にふさわしく、定着してきた感があり、継続自体を評価したい。</li> <li>当初から比べて草木も増加しており、公園らしい景観となったが、他の公園等ではあまり見られない植物（草花）として目玉となるものを今後見出していきたい。</li> <li>・利用者満足度が前年を下回っている。新規利用者のニーズをしっかりと把握する必要を感じる。ステップアップのための対応に期待したい。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京都動物園（指定管理者：公益財団法人東京動物園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月） （※葛西臨海水族園のみ平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
82	恩賜上野動物園	台東区上野公園	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木の根により盛り上がった地面を原因とした来園者の転倒事故が発生した。管理意識のゆるみによるものと考えざるを得ない。職員の意識向上を望む。（事故発生後、対策会議を実施し、園内巡回の強化と危険個所を発見した場合には直ちに早期の補修を行うことを確認し、各園への情報共有を図ることで再発防止を図った。）</li> <li>・平成27年度に続き機械警備施設忘れが多数発生した。再発防止策が機能しなかったということであり、大いに反省をしてほしい。（事故発生後、各現場での問題点の洗い出しと改善策を検討するとともに、施設の取締簿を作成・運用している。）</li> <li>・障がいを持つ子ども等を招待するイベント「ドリームナイトアットザズー」を発展させた「ドリームデイ」を開催、400人を招待しており動物の魅力に触れる場を提供している。公共施設として有意義な取組であり、評価に値する。</li> <li>・生息地で採卵されたライチョウ卵全卵の人工孵化・育成に成功。生物保全の領域においては顕著な成果が上がっており、高度な飼育技術の継承が図られていることは高く評価できる。</li> <li>・職員による動物それぞれの生態をうまくいかした展示の努力が、動物園全体の魅力づくりにつながってきていると感じられる。展示だけでなく、日本の動物種の保全について重要な役割を担っていることを、より広く知っていただくと良いと思う。</li> <li>・台東区と連携し、外国人向けタブロイド紙への広告掲載や台湾人旅行サイトに広告掲載を行った。また、訪日外国人調査を実施し、今後は効果的・多角的な海外来園者誘致を視野に入れている。</li> <li>・スマートフォン用サイトの「UENO PLANET」開設、園内サインの多言語化など、時宜を踏まえた利用者サービス・PRも行われている。</li> </ul>
83	多摩動物公園	日野市程久保六・七丁目、南平八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月18日にキタキジ1羽脱柵、4月19日にインドクジャク2羽が園外に脱走した。（事故発生後、全園において動物舎の緊急点検を実施し、再発防止を図った。）</li> <li>・委託の草刈り作業で隣地に駐車してある車両に小石を落とし、苦情があった。また作業中にフォークリフトでベンチをなぎ倒す事故があった。園内大改装工事が進む中、管理工事委託業者の不注意事故がいくつか発生している。園内が騒然としている時こそ気を引き締め、安全管理等に万全を期して欲しい。（委託業者に注意喚起を行い、再発防止を指導した。）</li> <li>・新規展示種としてタスマニアデビルを導入し、アジアでは唯一の展示を実現したことは、園の魅力が大きく高める取組である。</li> <li>・29年連続でコウノトリの繁殖に成功、トキ・ニホンイヌワシ・アカガシラカラスバトの繁殖に成功、オガサワラシジミは初めてF3世代の誕生に成功したことは高く評価できる。</li> <li>・園内自然環境を活用した「野鳥びゅー」に加え、昆虫館を活用した企画展「ナナフシの七不思議」、タスマニアデビルを目玉とした「タスマニアデビルのスペシャルトーク」等を実施し、好評を得た。</li> <li>・海外からゾウ飼育やオーストラリア産動物飼育の専門家の招聘などを行い、高度な技術研修を行った。</li> <li>・工事中のエリアが多い年度が続き大変だと思いが、それを補うような人気企画を発信して、来園者を増やし、満足度を上げていく努力を期待したい。</li> </ul>
84	葛西臨海水族園	江戸川区臨海町六丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新展示「浮遊生物」・「発光生物」のオープンやチョウクラゲの水族園初展示など、展示物の魅力向上に成果を上げた。</li> <li>・トビハゼの巣穴調査や生息地調査、トビハゼ保全施設連絡会の実施など、観察会や生息地調査を実施した。</li> <li>・世界初となるメンダコ孵化の成功に加え、イワトビペンギンのオス個体から精液採取を実施し、海遊館での世界初のイワトビペンギンの人工授精成功に寄与するなど、生物保全の領域においても確かな成果があった。</li> <li>・特別支援学校等を対象とした移動水族館事業を年間70回実施し、「新しい東京」賞を受賞した。</li> <li>・お盆期間の4日間、開園時間を3時間延長したイベント「Night of Wonder」の中で「シーライフステージ」企画を実施。海の生き物に関わる著名人を招き、特設ステージで講演会を開催した。幅広い年齢層に向けて多彩なイベント・教育プログラムに力を入れている点は評価できる。</li> <li>・カナダにおける生物採取やチリにおける生物採取に向けた取組など、海外における生物採取を実施したほか、深海魚バラムツ、深海サメなどの深海生物等、国内各地で様々な生物を採取した。また、新規生物の導入を行い、世界各地の様々な環境の生物を導入することで展示の充実を図ったことは高く評価できる。</li> </ul>

85	井の頭自然文化園	武蔵野市御殿山一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託の剪定作業中に落枝が通行者に当たる第三者事故があった。ケガはなかったものの重大事故となる恐れがあった。受託業者の安全対策への指導・監督が不十分であった。（委託業者に安全管理の徹底を指導し、再発防止に向けた改善策を指示した。）</li> <li>・障がいを持つ子供とその家族を閉園後に招待するドリームナイトアットザズーにおいて、昨年度（446名）を超える668名の参加者に多数のイベントを楽しんでもらったことは評価できる。本イベントの拡大は、公共施設としての意義を踏まえた価値ある取組である。</li> <li>・コウノトリ保全国際シンポジウム「コウノトリの生息域拡大に向けて」（コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル（IPPM-OWS）との共催）の開催及びヤマネコに関する展示や各種イベントの開催により、日本産動物保全に関する普及啓発を推進した。</li> <li>・5月26日に死亡したアジアゾウはな子に関連する特設展「アジアゾウはな子の69年」や各種イベントを多数開催し、話題性・社会的要請に応じた的確な措置を講じた。</li> <li>・「ヤマネコ祭2016」を開催し、絶滅危惧種ツシマヤマネコの保護と繁殖のために地域や動物園が取り組む保全活動をアピールした。ツシマヤマネコ飼育開始10年目を迎え、対馬市から感謝状を受領した。また、近隣の民間事業者等と連携によるイベント開催や圏外でのPR活動を行った。</li> <li>・マップやグッズが、吉祥寺の地域性を感じるデザインとなっており、オリジナリティを感じる。吉祥寺の地の利を生かし、地域のアーティスト参加などの企画も考えれば、さらにこの動物園のオリジナリティが生まれるかもしれないと感じる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ズーネットサイトの脆弱性を突いた悪意ある攻撃により、HP改ざん及び個人情報流出事故があった。脆弱性は古い設計でのサイト構築に原因があり、管理不十分といえる。（情報セキュリティ自己点検と内部個人情報を整理したほか、研修等により全職員の意識を向上させた。ウェブサイト管理では、不正アクセス及び情報漏洩を防ぐ対策を講じた。）</li> <li>・ズーネット情報漏洩事故により、ホームページを1カ月閉鎖し、利用者に対する情報提供がなされなかった。各園内での不注意事故を含め、職員全体の危機意識の希薄さを疑わざるを得ない。ジャイアントパンダ公開を控え、体制を含む意識改革の必要性を再点検して欲しい。</li> <li>・年12件の目標に対し、19件のズーストック種及び保全対象種において繁殖に成功した。</li> <li>・今後、当該動物園で不足しているのは、各所の細かい展示や造作であろう。チボリ公園でみられるそういった細かい工夫を参考にしていきたい。また、多摩動物公園のような丘陵地域では、各地点からの眺望に工夫を凝らすことも必要であろう。さらに、高齢者や子供のためにも、なるべく日影のスペースを作ったり、小さな子供連れの母親のために、坂を苦労せずに移動できる電動ベビーカー等の配慮がほしい。</li> <li>・飼育技術の向上や野生生物の保全の領域では、我が国を先導する存在して、積極的かつ有意義な取組が多数行われている。</li> </ul>

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京都霊園（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
86	青山霊園	港区南青山二・四丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化や車両通行により園路の破損や段差等が発生している箇所について、段差解消や手すり設置などの小まめなバリアフリー対策を機動的・迅速に行っている点は評価できる。</li> <li>・度重なる墓所内地蔵の損壊事件について、警察と連携して解決に当たり、犯罪件数を11件から1件に激減させた。</li> <li>・近隣の青山特別支援学校（平成26年開校）の学外活動の一環として、生徒による園内清掃活動を受け入れたことは高く評価できる。</li> <li>・都の大規模墓所の返還工事の際に、隣接する複数の個人墓所の所有者と十数回にわたる調整を行い、返還者に不適正樹木を抜根、根切等の処理をさせるなど適正管理を図った。また、荒れ墓所の是正促進のための利用者への依頼等、労力と時間を要する事務を着実にやり、成果を上げた。</li> <li>・歴史・人文資源を情報発信するテーマ型著名人マップ第4弾「林学・造園家篇」を発行し、学校の社会科見学・視察等の案内に活用している。</li> </ul>
87	谷中霊園	台東区谷中七丁目、上野桜木二丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・囲障間の樹木について、霊園管理者でなく墓地使用者に対応義務があることを知らない使用者が多いため、実生木の除去を中心とした意識啓発パンフレットを作成、配布した。</li> <li>・実生木の現物展示や、草取りスティックの貸し出しなどは、利用者にわかりやすく訴え、個人墓所の適正な管理作業をしていただくための良いアイデアである。また、宴会禁止の周知徹底、竹垣の更新、樹木管理などの取組により、静謐でありながら情緒に富んだ空間の創出に成功している。</li> <li>・新規利用者説明用に内部構造までわかる一般墓所と立体埋蔵施設の模型を作成した。</li> <li>また、立体埋蔵施設の申し込みの手順について、従来は口頭説明のみであったが、新たにリーフレットを作成したほか、墓参者が立ち入れない立体埋蔵施設内部の説明用イラストを窓口に設置するなど、利用者目線のきめ細かい対応は高く評価できる。</li> <li>・寺町の風情を醸成するよう設置している四つ目垣等の竹垣を更新し、訪日外国人観光客の増加に伴い、説明文に英語表記を追記した。</li> <li>・竹垣が以前に比べて多くなり、様々なバリエーションは人の目を引くものがあり評価できる。今後も、竹を利用した様々な工夫を考えていただきたい。竹垣の説明書きはもう少し大きい方が望ましい。</li> <li>・墓マイラーなど観光客に対しても親切な対応に努め、好評を得ており、高く評価できる。</li> </ul>
88	雑司ヶ谷霊園	豊島区南池袋四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・墓参者の熱中症対策として、崇祖堂各階にスポットエアコンを設置したことにより、各階の気温が約3℃低下した。来園者に配慮した施設管理を行っている。</li> <li>・園内に未舗装の園路が多く、成長した樹木の根が通行の支障となっているため、園内全域の調査を行い、支障根処理の5カ年計画を策定、マップ化した。計画に基づき、平成28年度は34箇所の支障木・切株を処理したことは評価できる。</li> <li>・不適正墓所約100件の是正、全墓籍簿8,585カ所の調査など、時間と労力を要する業務を着実にやっている。</li> <li>・平成27年に雑司ヶ谷地区一帯が日本ユネスコ協会の未来遺産に認定されたことに伴い、雑司ヶ谷未来遺産推進協議会が推進している「リコリス通り」造園計画に参加し、景観づくりの一環として霊園外周に彼岸花の植栽を行った。</li> <li>立地条件を活かし、地元区や関連団体・協議会と連携した霊園管理を行ったことは評価できる。</li> <li>・墓マイラーなど観光客に対しても親切な対応に努め、好評を得ており、高く評価できる。</li> </ul>
89	染井霊園	豊島区駒込五・七丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1区画を2家族で不適正使用していた墓所について、双方と調整しつつ是正し、墓所の適正管理を推進している。</li> <li>・技術系職員に加え、事務系職員も防災訓練に参加。土嚢作成、運搬を行い、災害時に職員全体が対応できる体制を整えたことは評価できる。</li> <li>・休憩所が少ないエリアを点検し、著名墓所として来園者が立ち寄ることが多い高村光太郎墓所近くに休憩所を新設した。</li> <li>・かねてより要望が多かったベビーシートをだれでもトイレ内に設置したほか、職員が自ら行った休憩所整備、水場のないエリアへの臨時給水タンクの設置などは、利用者のために、よく考えられ、工夫を凝らした措置であり、評価に値する。</li> </ul>



90	八柱霊園	千葉県松戸市田中新田、紙敷、松飛台、河原塚、日暮	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正門周辺の雨水排水施設改修工事に伴い、園路が狭小になったため、職員による交通誘導と通学利用の多い近隣高校への注意喚起を行った。また、お盆期間中、職員による誘導や、正門前への仮設案内所設置など、きめ細やかな誘導・案内措置を講じた。</li> <li>・委託業者がごみ収集車の清掃中に両手を挟まれる事故が発生した。管理の不備であり、反省・改善を求めたい。（事故発生後、緊急安全講習会を実施し、作業手順の確認を徹底した。）</li> <li>・合葬埋蔵施設に墓誌が無いことの対応として、都立霊園で初めてとなる電子墓誌を管理事務所内に設置したことは高く評価できる。</li> <li>・平成28年度に新設された小学校と協議を重ね、6年生を対象に、雪吊り、竹磨きの職場体験を実施した。園内の美観を高めるとともに、地域との連携も深められる良い取組であった。</li> <li>・広大な敷地の中で迷われる方の問い合わせが多かったため、各トイレに梅や桜など、目印となる花のイラストを表示し、現在地を示しやすくした。</li> </ul>
91	八王子霊園	八王子市元八王子町三丁目、川町	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻発していたイノシシ被害の影響を迅速な復旧により最小限に食い止めたのみならず、適正な手続きを踏んで捕獲・駆除を行い、被害を根絶したことは、大きな成果である。</li> <li>・お彼岸時のらくらく墓参バスは定着しており、平成27年度から足の不自由な方でも利用しやすいローステップバスを1日増の5日間運行し、利用者数が増加。また、平成28年度から熱中症対策として冷凍したペットボトルやおしぼりを提供しており、墓参者の利便性を向上させたことは高く評価できる。</li> </ul>
92	多磨霊園	府中市多磨町四丁目、小金井市前原町一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が目立ち、倒木が発生したサクラの全数調査を行い、「危険なもの」、「要観察」、「健全なもの」に分類。「危険なもの」については樹木診断を行い、必要なものについては伐採措置を行った。要観察を中心に日常的な観察を実施し、事故を未然に防いでいる。</li> <li>・日常の樹木管理のなかから都の整備事業（植栽）に反映する提案が行われ、サクラに代表される樹木の更新に関する有意義な提案が出された。</li> <li>・近隣の石材店及び地元町会の協力を得て実施した「多磨霊園クリーンデー」では、初めて霊園東側の町会が参加し、近隣と協力したゴミ収集を行った。静謐な墓参環境の維持と同時に連携強化につながる取組を行ったことは評価できる。</li> <li>・アメリカンスクールや中学校・職業能力開発センター等の実習を受け入れ、地域に愛される霊園づくりに努めている。</li> <li>・芝生火災防止のため、壁墓地への看板、下げ花置場150箇所へ手づくりポスター、園内8箇所に防火用水設置、パワーカートへの水タンク装着を行うなど安全性向上の取組を行っていることは評価できる。</li> <li>・窓口への戸籍原本見本の設置や、トイレ環境の改善は、目立たないながら、利用者の利便性・快適性を高めるものであり、評価に値する。</li> </ul>
93	小平霊園	小平市美園町三丁目、東村山市萩山町一丁目、五丁目、東久留米市谷柳窪三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人墓所手入れ用に使用者に貸し出している刈込鋏等の用具に関して、実際に職員が使用して使いやすいものを提供するなど、使用者の目線で利便性向上を図っている。また、施設変更にあつては提出書類について、わかりやすく1枚にまとめたチェックリストを作成し、事務の効率化と使用者の利便性向上を図っている。</li> <li>・蚊の発生抑制、マツ枯れの防止、越境枝の処理など、園内環境の整備も着実に進められている。</li> <li>・合葬式墓地献花式では暑さ対策を入念に検討、並ばれた方全員が着席できるようテントを増設し、献花後の焼香までの間、日陰でお待ちいただけるよう藤棚下に待機席120席を設けて1,100名の参列者が暑さを凌いでゆっくりお待ちいただく等、高齢者に配慮した運営を行っていることは評価できる。</li> <li>・視察の関係者が多く来訪（平成28年度29件）しており、管理のみならず計画や建設の経緯などへの質問対応のため、都や本社の関係者と連携して適切な対応を行っている。</li> </ul>

グループ全般	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 霊園管理システムの運用など施設管理運営に取り組むとともに、個人情報保護の徹底、全霊園均一のサービスの提供が図られるなど、施設の特性を踏まえた適切な管理運営が行われている。</li><li>・ 利用者満足度も高水準を維持している。</li><li>・ 膨大な所有者との対応はさぞかし大変だと思われるが、継続的にしっかりと取り組んでおられることに頭がさがる。</li><li>・ 著名人のお墓参りが増え、霊園によってはそれに対応するパンフレットを作成しているが、ネットでもそれがインフォメーションされると良いと思う。加えて、簡単な英語版の案内もできれば良いかと思う。</li><li>・ 霊園は厳かな雰囲気を維持すると同時に、公園としての機能、花見や墓マイラーなどの観光対応など多様な機能を求められている。</li><li>・ さらに、防災対策や Dengue 熱対策など、対応すべき事柄が多い。そのような中で、職員の対応が総じて高評価であることは、指定管理者の努力の賜物と言える。</li><li>・ 各霊園とも、施設実態・利用者実態に応じたきめ細やかなサービスが行われており、利用者の満足度も高い水準にある。引き続き、東京都との良好な連携を保ち、サービスの一層の充実を図られるよう期待する。</li></ul>
--------	---

平成28年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 瑞江葬儀所 （指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成31年3月）				
	施設名	所在地	総合評価	評価内容
94	瑞江葬儀所	江戸川区春江町三丁目二十六番一号	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの改修など利用者目線のきめ細かい配慮は満足度の上昇に表れている。</li> <li>・非常用照明が老朽化していたため、更新時にLED化するとともに、照度を精査し、設置台数を10台から3台に削減した。また、耐用年数が長いLED照明の管理のため、年度ごとに配置図をわかりやすく色分けした整備台帳を作成するなど、予防保全的な修繕を行いながら円滑に運用している点は評価できる。</li> <li>・LED化は評価できるが、照明の工夫によってより静粛なイメージを描き出せるのではないかと。訪問者の視線に触れるような見せ方が望まれる。</li> <li>・四ツ木斎場の建て替えに伴い、通常14時台までの火葬時間を、平成27年2月から15時台まで延長していた。若手職員への技術継承を行うなどにより、稼働時間の延長を実現し、事故なく11月をもって火葬時間延長を終了したことは、公共施設の責務を果たしたものとして高く評価できる。</li> <li>・火葬枠拡大時間の受付件数は1,265体であった。延長終了については地元4町会会長に事前に説明し、随時丁寧な説明を重ねてきたことで、4町会と良好な関係を継続することができた。</li> <li>・民間施設と比較されることが多い施設であるが、施設の古さ以外では民間事業者に引けを取らない運営サービスを提供できている。</li> <li>・老朽化した設備などの問題もあるが、その中でできる改善を積み上げ、遺族の目線に立ったサービス向上の努力をされていることは評価できる。</li> </ul>